

橋梁付属物詳細図

目 次

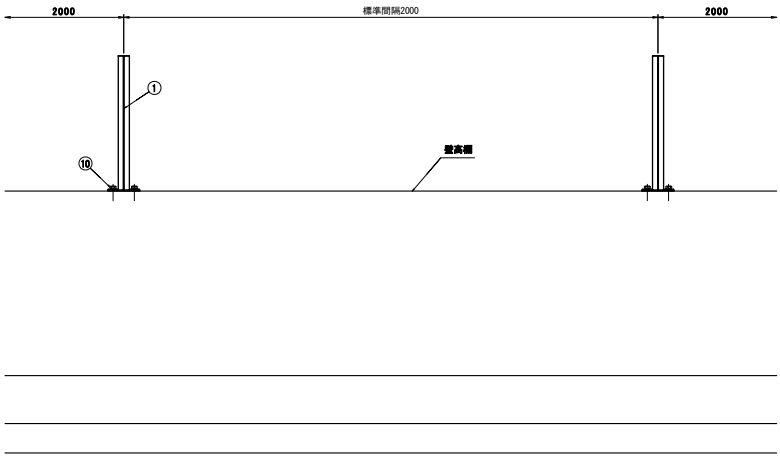
[illegible]

眩光防止板Gi詳細図

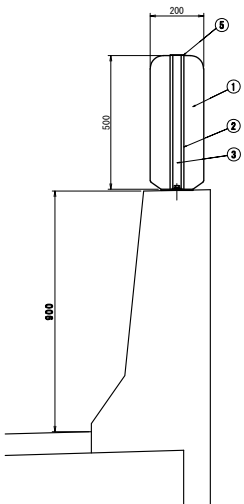
平面図 S=1:600

眩光防止板 n=100基(中分側に設置)

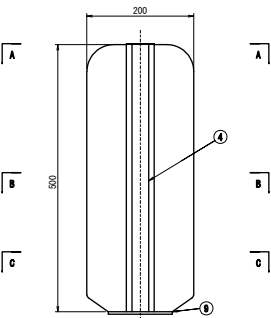
側面図 S=1:20



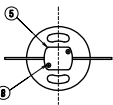
正面図 S=1:20



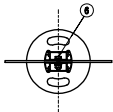
① 防眩板 S=1:10
(構架区間: 白色)



A-A断面図 S=1:10

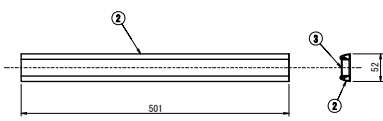


B-B断面図 S=1:10

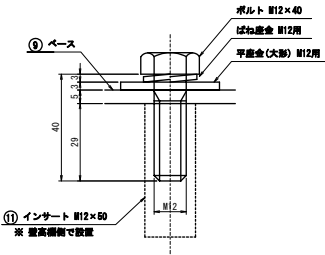


C-C断面図 S=1:10

② 支脚 ③ シャッター S=1:10



⑩ 固定ボルト S=1:2

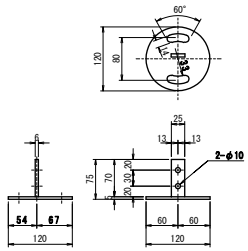


材料表

一基通り

PLタイプ				
部 号	部 品 名	取 量	材 質	備 考
①	防 眩 板	1	プラメタル	アルミ樹脂複層板合材 t3.0
②	支 脚	2	A6063S	—
③	シャッター	2	A6063S	—
④	反射テープ	2	スコッチライト	—
⑤	アルミ盤	1	A5052P	t1
⑥	固定ボルト・ナット	2	SUS	N×1, 平頭×2, 50×1
⑦	固定ボルト・ナット	2	SUS	N×1, 平頭×2, 50×1
⑧	ビス	2	SUS	—
⑨	ベースL	1	SS400	H235
⑩	固定ボルト	2	—	H235 平大頭×1, 50×1
⑪	インサート	2	SUS	—

⑨ ベースL S=1:10

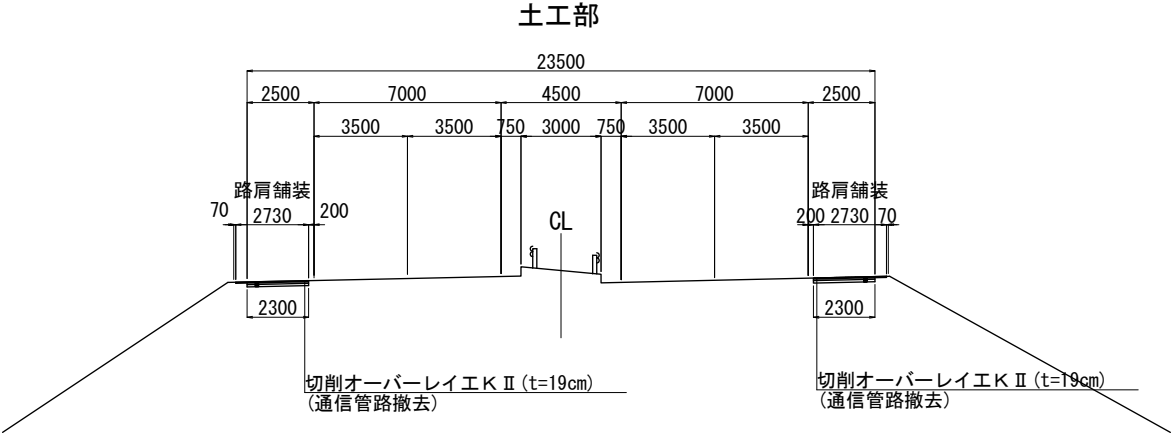


東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	眩光防止板Gi詳細図
縮 尺	図示 図面番号 001/002
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行用中央分離帯改良工

圖 面 目 次

[illegible]



路肩切削オーバーレイ対象範囲

	全体	面積 (㎡)
大森川橋・松塚川橋 (下り線)	253.081 KP~255.155 KP	5662.0
八反田川橋 (上り線)	262.964 KP~263.696 KP	1998.4
八反田川橋 (下り線)	262.964 KP~263.696 KP	1998.4
新産ヶ沢橋 (上り線)	272.407 KP~273.329 KP	2517.1
新産ヶ沢橋 (下り線)	272.407 KP~273.329 KP	2517.1

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	路肩舗装標準横断面図		
縮尺	図示	図面番号	001 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

八反田川橋(上り線)

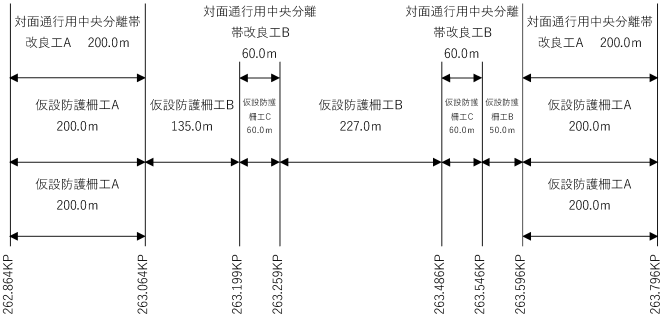
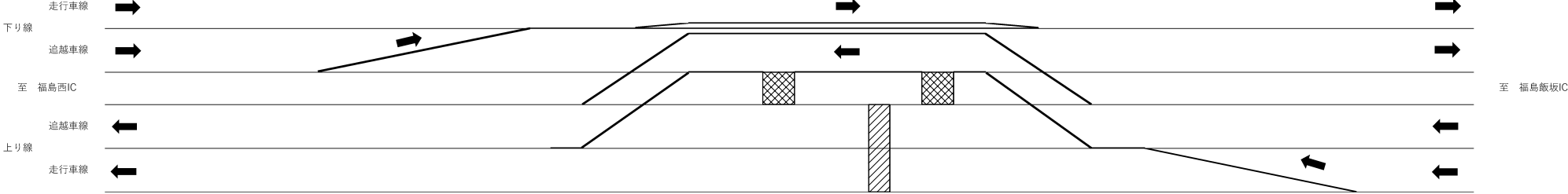
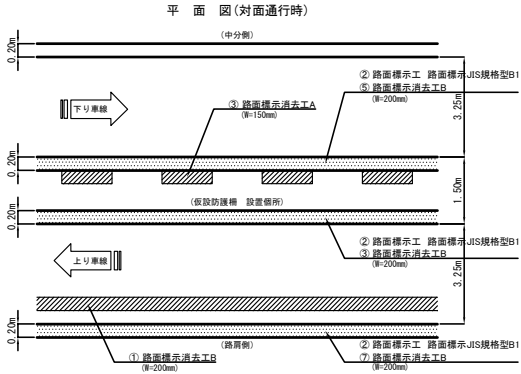
渡り車線施工図

数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ(t=19cm)	1998.4	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	292.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	732.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2196.0	m	
注意喚起溝工 B	732.0	m	
路面標示消去工A	292.8	m	
路面標示消去工B	2928.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	412.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	

対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

項目	【八反田川橋 上り】										備 考
	表層 t=4cm ㎡	基層 t=6cm ㎡	上層部 t=20cm ㎡	下層部 t=12cm ㎡	路床切削 ㎡	路面標示工 JIS型 B1 m	防護柵 m	灯光防止板 基	仮設防護柵 基	距離柵 枚	
中分改良位置											
中分改良工A 200 m 262.864 KP ～ 263.064 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	51	4	2	
中分改良工B 60 m 263.199 KP ～ 263.259 KP	285	288	294	300	22	240	60	16	1	1	
中分改良工B 60 m 263.486 KP ～ 263.546 KP	285	288	294	300	22	240	60	26	1	1	
中分改良工A 200 m 263.596 KP ～ 263.796 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	42	4	2	
合 計	2,470	2,496	2,548	2,600	194	2,080	520	135	10	6	



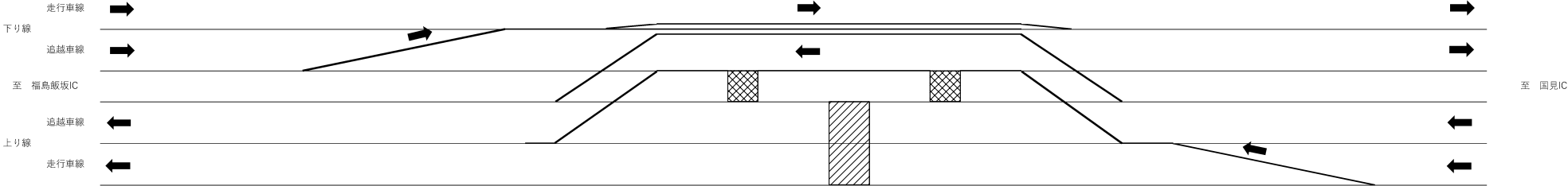
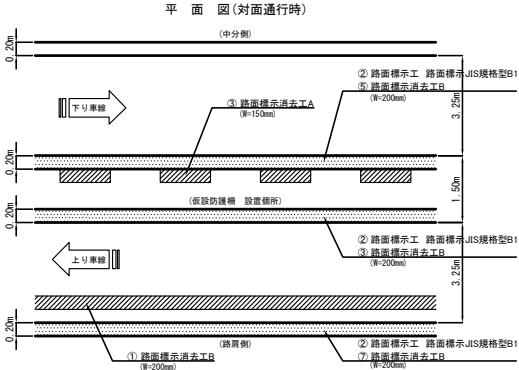
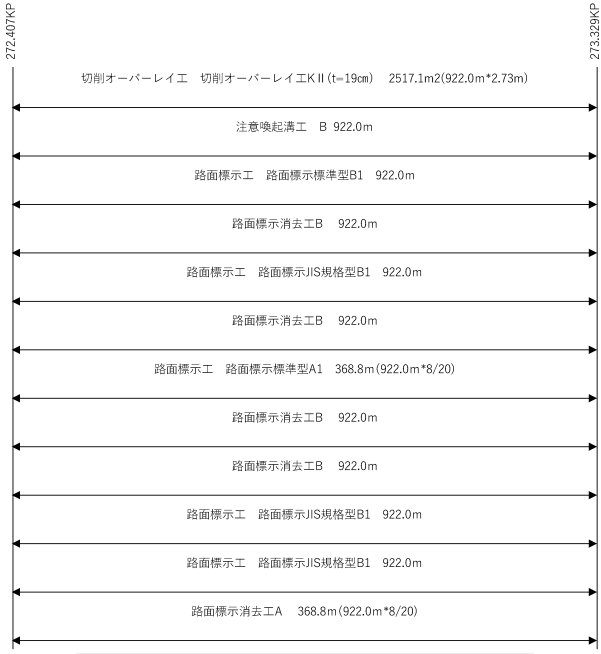
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋(上り線) 渡り車線施工図		
縮 尺	—	図面番号	003 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋(下り線) 渡り車線施工図		
縮 尺	—	図面番号	004 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

新産ヶ沢橋(上り線)

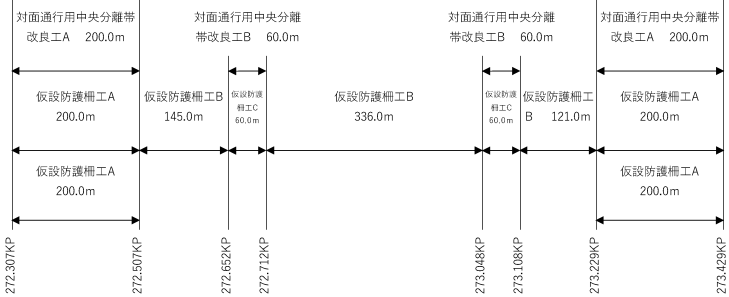
渡り車線施工図

数量表			
項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工KⅡ(t=19cm)	2517.1	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	368.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	922.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2766.0	m	
注意喚起溝工 B	922.0	m	
路面標示消去工A	368.8	m	
路面標示消去工B	3688.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	602.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	



対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表											
項目	【6m型・穴橋 上り】										
	表層 t=4cm	基層 t=6cm	上層砕石 t=25cm	下層砕石 t=15cm	縁石 t=25cm	縁石 t=25cm	縁石 t=25cm	縁石 t=25cm	縁石 t=25cm	縁石 t=25cm	備考
中央改良工事A 272.307 KP ～ 272.507 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	101	15	2	
中央改良工事B 272.602 KP ～ 272.712 KP	285	288	294	300	22	240	60	16	1	1	
中央改良工事C 272.808 KP ～ 273.108 KP	285	288	294	300	22	240	60	16	1	1	
中央改良工事D 273.229 KP ～ 273.429 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	51	3	2	
合 計	2,470	2,496	2,548	2,600	194	2,080	520	184	20	6	

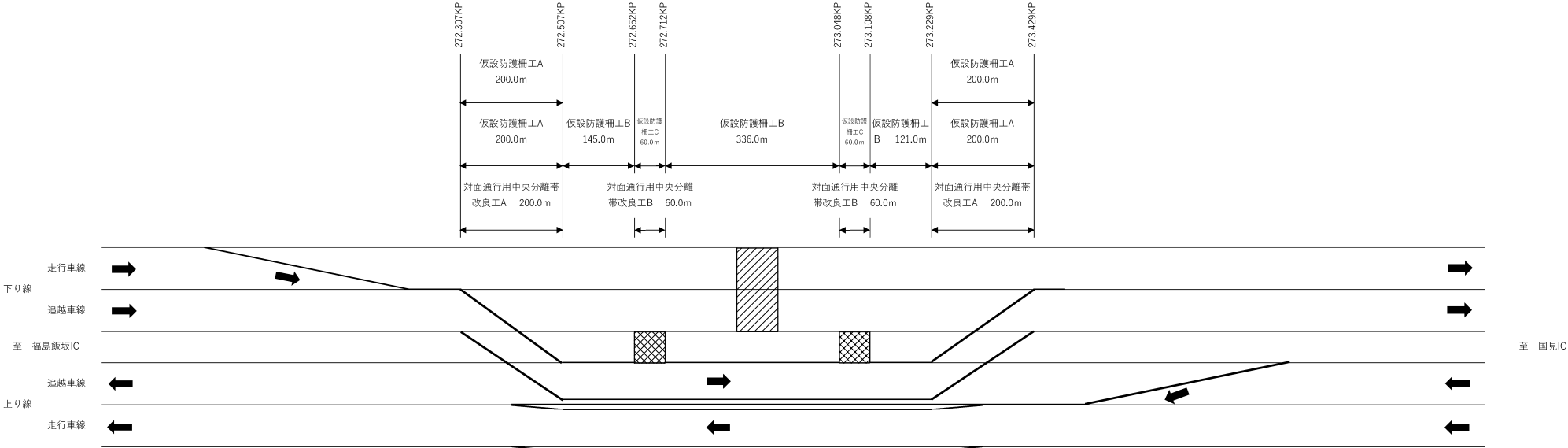
※1. コンクリート製防護柵延長



東北自動車道		
新産ヶ沢橋床版取替工事		
図面の種類	新産ヶ沢橋(上り線) 渡り車線施工図	
縮 尺	—	図面番号 005 / 008
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所	

新産ヶ沢橋(下り線)

渡り車線施工図



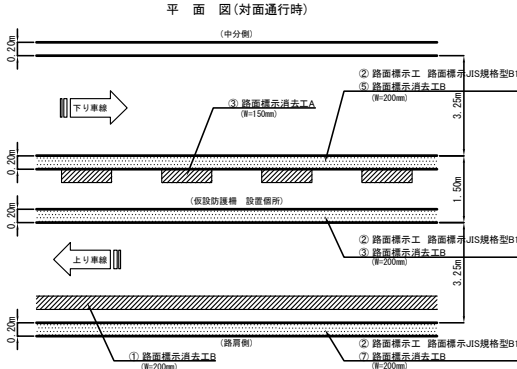
数量表

項目名	数量	単位	備考
切削オーバーレイ工 切削オーバーレイ工K II (t=19cm)	2517.1	m2	
路面標示工 路面標示標準型A1	368.8	m	
路面標示工 路面標示標準型B1	922.0	m	
路面標示工 路面標示JIS規格型B1	2766.0	m	
注意喚起溝工 B	922.0	m	
路面標示消去工 A	368.8	m	
路面標示消去工 B	3688.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工A	400.0	m	
対面通行用中央分離帯改良工B	120.0	m	
仮設防護柵工A	800.0	m	
仮設防護柵工B	602.0	m	
仮設防護柵工C	120.0	m	

対面通行用中央分離帯改良工数量内訳表

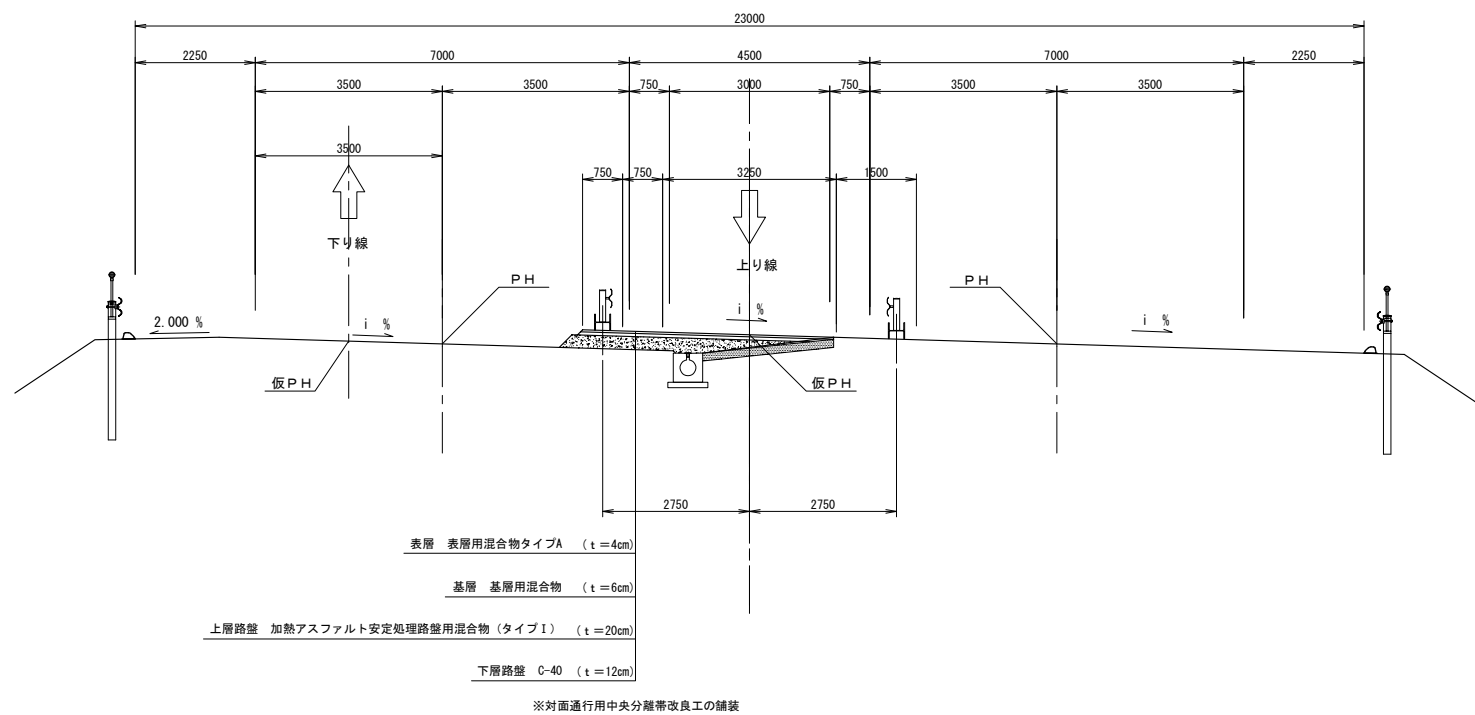
【特定ヶ沢橋 下り】													
項目	表層	基層	上層防振	下層防振	排水切羽	排水遮断	排水遮断	排水遮断	排水遮断	排水遮断	排水遮断	排水遮断	排水遮断
	10cm	10cm	10cm	10cm	m ²	m	m	m	m	m	m	m	m
中央改良区画	250 m												
中央改良区画A	272.307 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	101	15	2		
中央改良区画B	272.507 KP												
中央改良区画C	272.652 KP	285	288	294	300	22	240	60	16	1	1		
中央改良区画D	272.712 KP												
中央改良区画E	272.852 KP	285	288	294	300	22	240	60	16	1	1		
中央改良区画F	273.048 KP												
中央改良区画G	273.108 KP												
中央改良区画H	273.208 KP	950	960	980	1,000	75	800	200	51	3	2		
中央改良区画I	273.429 KP												
計	2,470	2,496	2,545	2,600	194	2,080	500	184	20	6			

※1. コンクリート製の防護柵延長

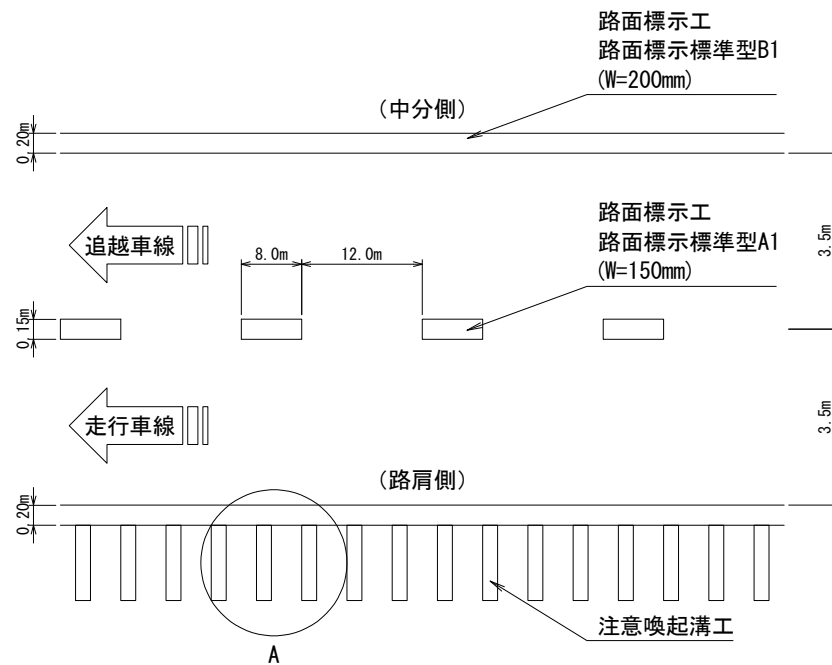


東北自動車道			
新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	新産ヶ沢橋(下り線) 渡り車線施工図		
縮尺	—	図面番号	006 / 008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

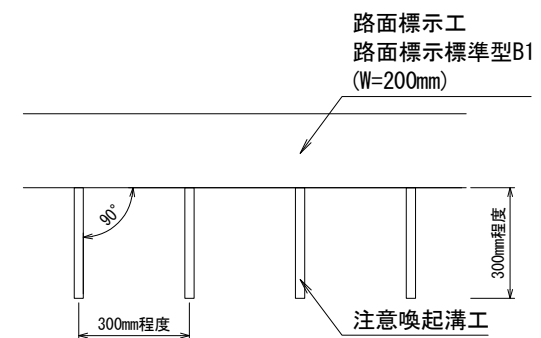
対面通行用中央分離帯改良工 標準横断面図 S=1:100



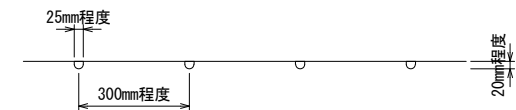
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	対面通行用中央分離帯改良工 標準横断面図		
縮 尺	図示	図面番号	007/008
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		



A部拡大図



A部断面図



数量表

100m当り

項目	単位	数量	摘要
路面標示標準型A1	m	40.0	破線 W=15cm
路面標示標準型B1	m	200.0	実線 W=20cm
注意喚起溝工A	m	100.0	

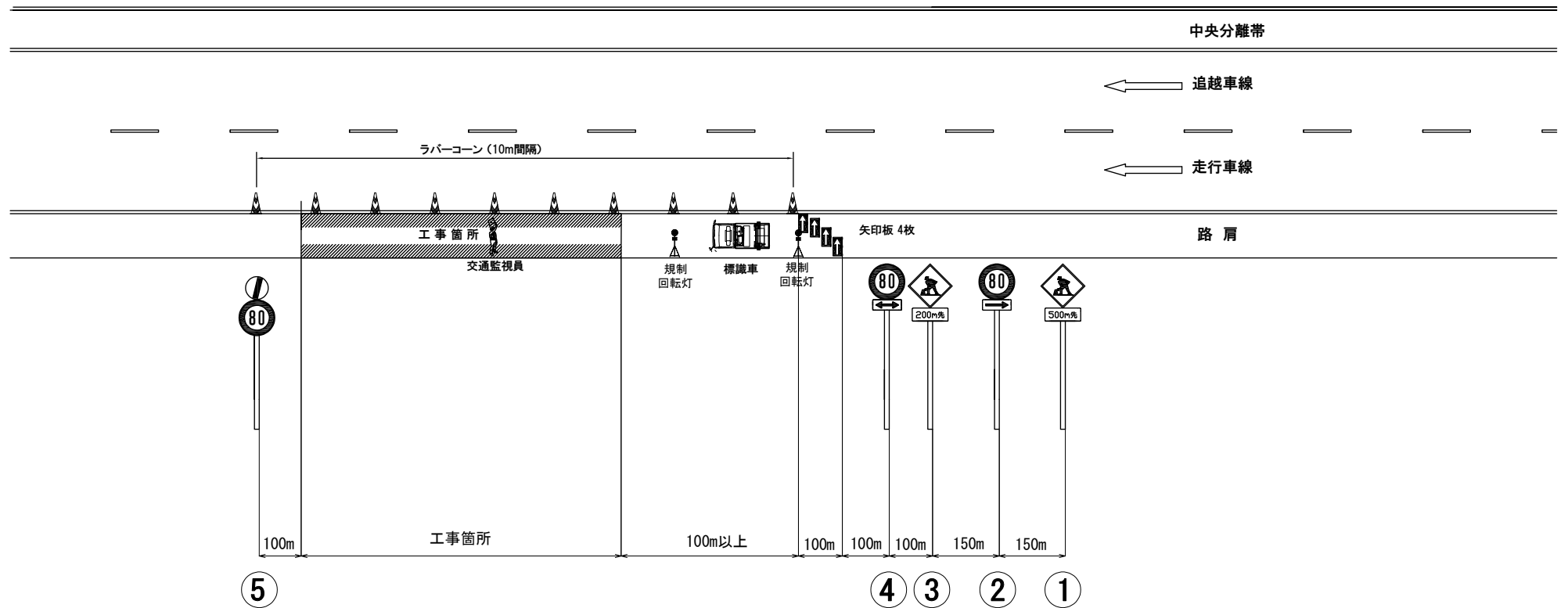
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	注意喚起溝工図		
縮尺	—	図面番号	008 / 008
設計会社名	株式会社 近代設計		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

交通規制工

圖 面 目 次

[illegible]

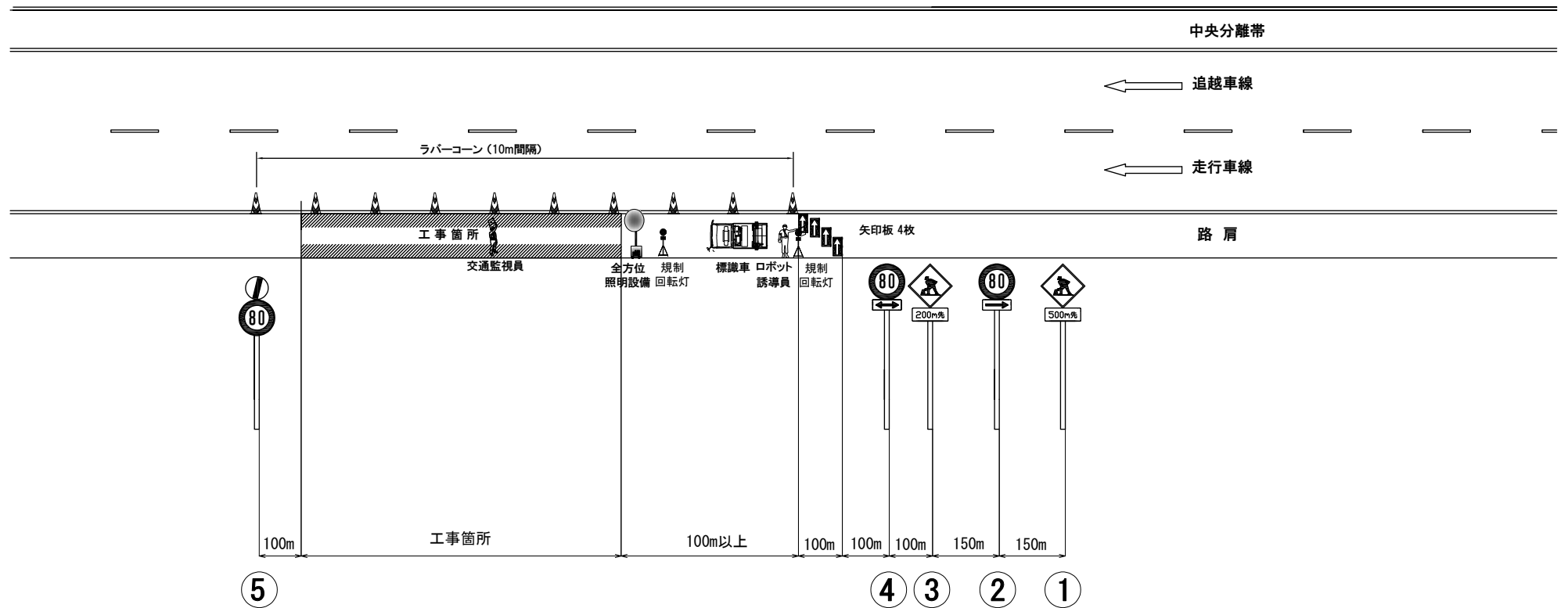
路肩規制(昼夜間連続)(福島県)(福島西IC以南)



- ※1. ラバーコーンは、10m間隔で設置する。(作業場所以外は20m間隔)
 ※2. テーパー部の矢印板は、車線に対して直角に設置する。
 ※3. 標識はガードレール・ケーブル等に取付金具等でしっかり固定すること。

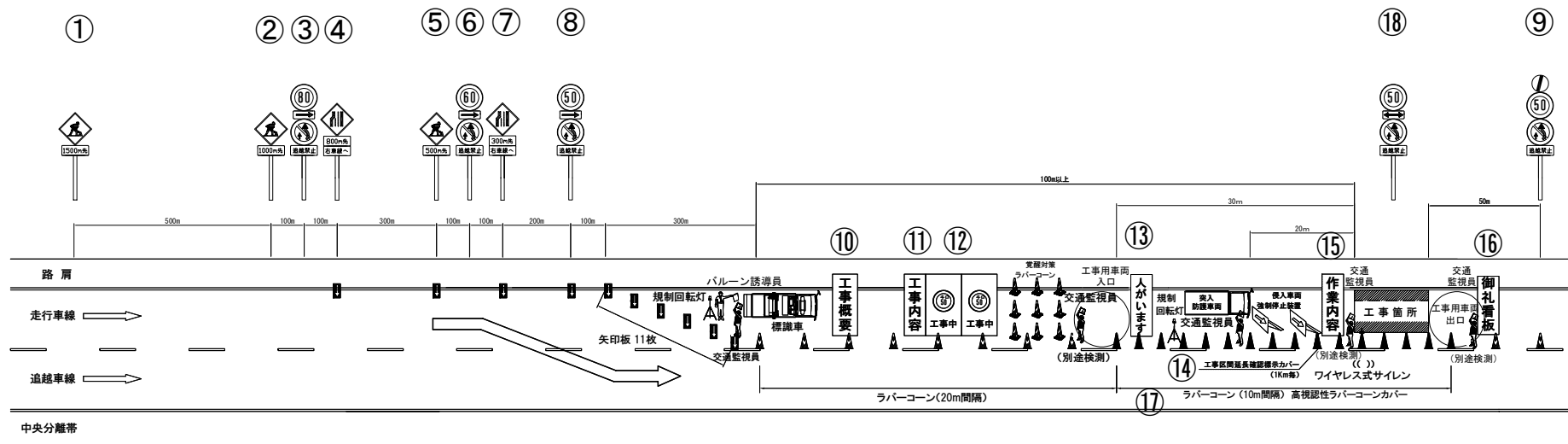
東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	路肩規制(昼間)(福島県)
縮尺	- 図面番号 001 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

路肩規制(昼夜間連続)(福島県)(福島西IC以北)



- ※1. ラバーコーンは、10m間隔で設置する。(作業場所以外は20m間隔)
- ※2. テーパー部の矢印板は、車線に対して直角に設置する。
- ※3. 標識はガードレール・ケーブル等に取付金具等でしっかり固定すること。

東北自動車道 新座ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	路肩規制(夜間)(福島県)
縮尺	- 図面番号 002 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

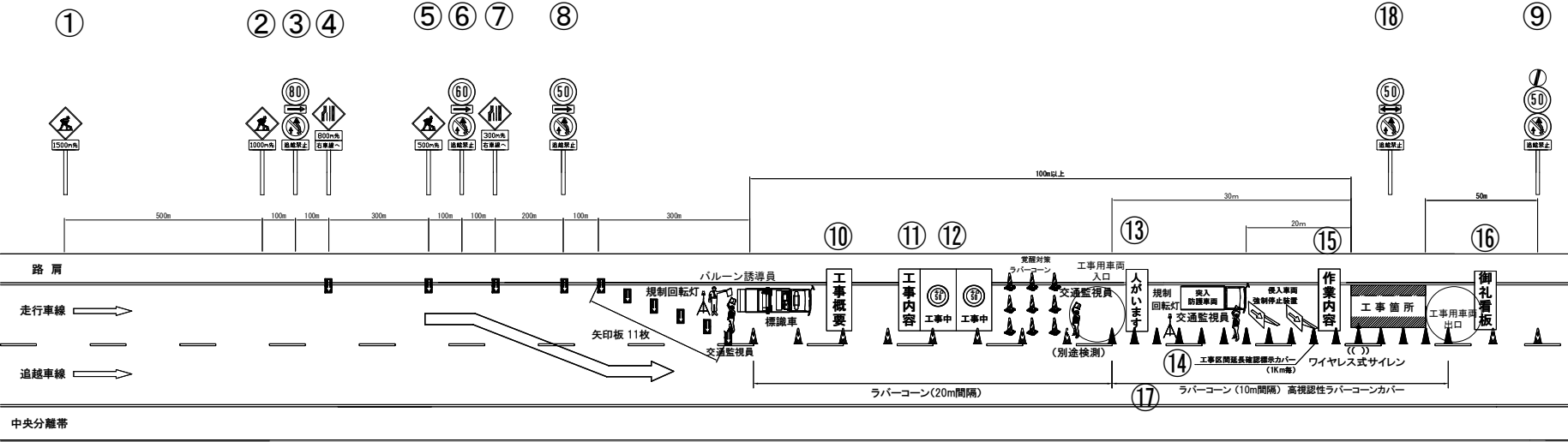


※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去時、足場材搬入・搬出以外の作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分	備 考
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑩	9+N※	本	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	テーパー部、工事箇所の手前	2	基	○	
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基	○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台	○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○	セーライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○	
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○	
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○	
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○	
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○	
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○	
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑰ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○	

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床取替工事	
図面の種類	車線規制(昼間・走行)(その1)
縮 尺	— 図面番号 003 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所



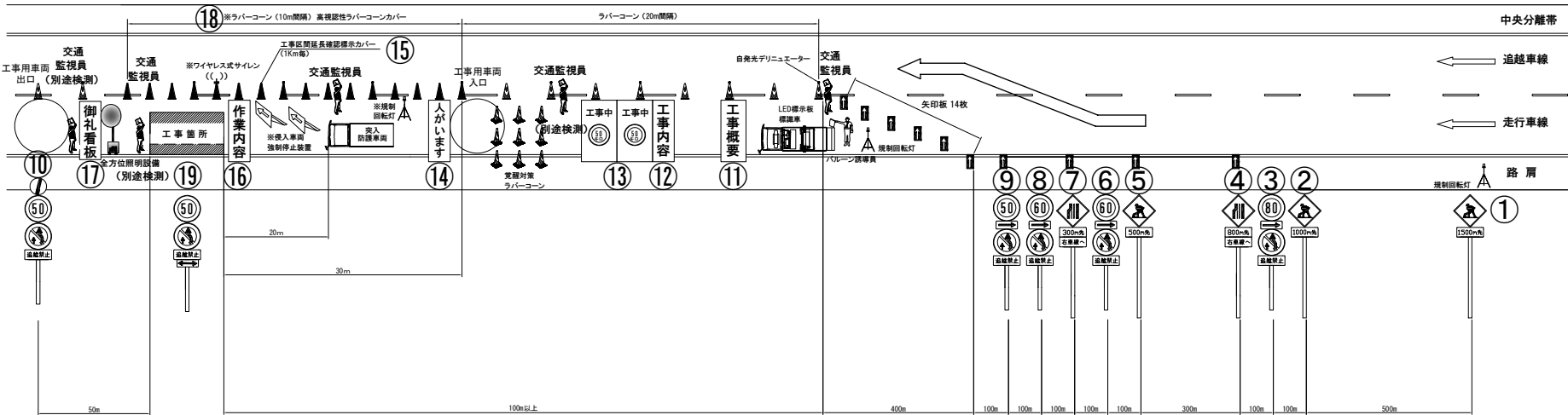
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去時、足場材搬入・搬出作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分	備 考
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑨、⑩	9+N※	本	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑧	15	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	テーパー部、工事箇所の手前	2	基	○	
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基	○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台	○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○	セーライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑩	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○	
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○	
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○	
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○	
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑭規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○	
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○	
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑰ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○	

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床取替工事	
図面の種類	車線規制(昼間・走行)(その2)
縮 尺	— 図面番号 004 / 014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

車線規制(夜間・走行)(その1)



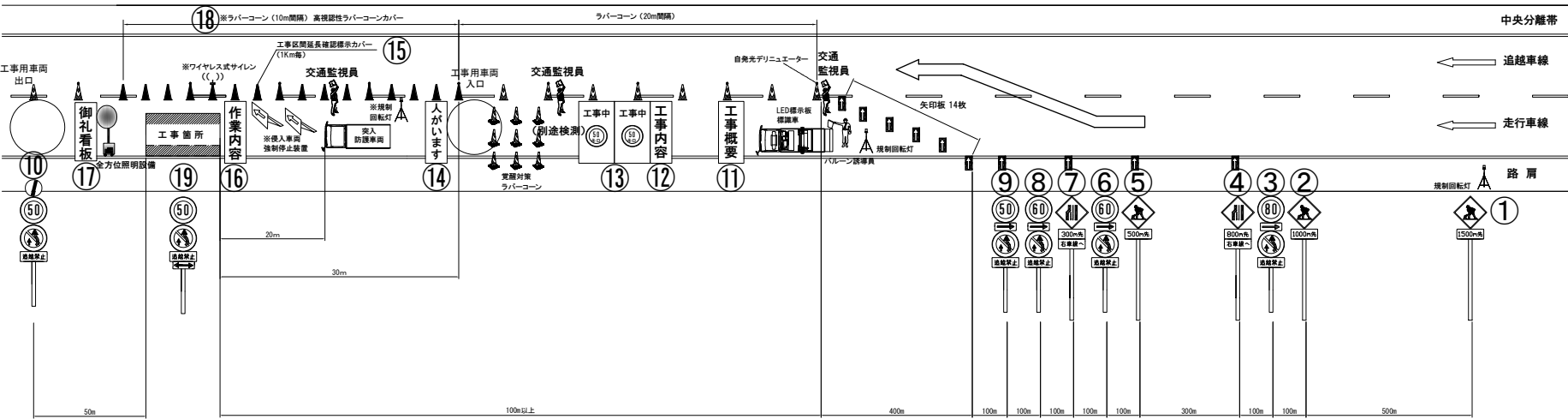
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去以外の作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		セタライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニュエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		セタライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑱	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑲ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		
自発光デリニュエーター	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	車線規制(夜間・走行)(その1)		
縮 尺	—	図面番号	005 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

車線規制(夜間・走行)(その2)



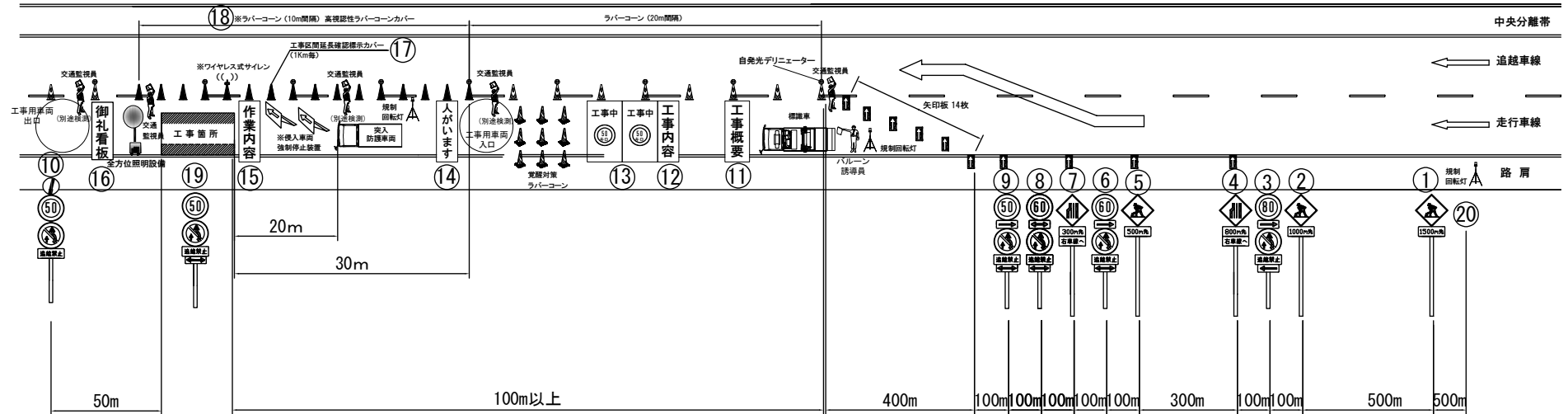
※ 当規制図は、簡易情報板設置・撤去作業時に適用する。

規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区 分		備 考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	9+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	9+N※	個	○		
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号①手前、テーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		セーラライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニュエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		セーラライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入防護車両	現場乗込車両 4 t 車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
侵入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
規制延長確認標示看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮規制終了箇所までの延長を1km毎に表示	必要数	枚	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑰	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑱ラバーコーンを10m間隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		
自発光デリニュエーター	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○		

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	車線規制(夜間・走行)(その2)	図面番号	006 / 014
補 尺	—	設計会社名	
施工会社名		事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

車線規制(昼夜間連続・走行) (福島県)



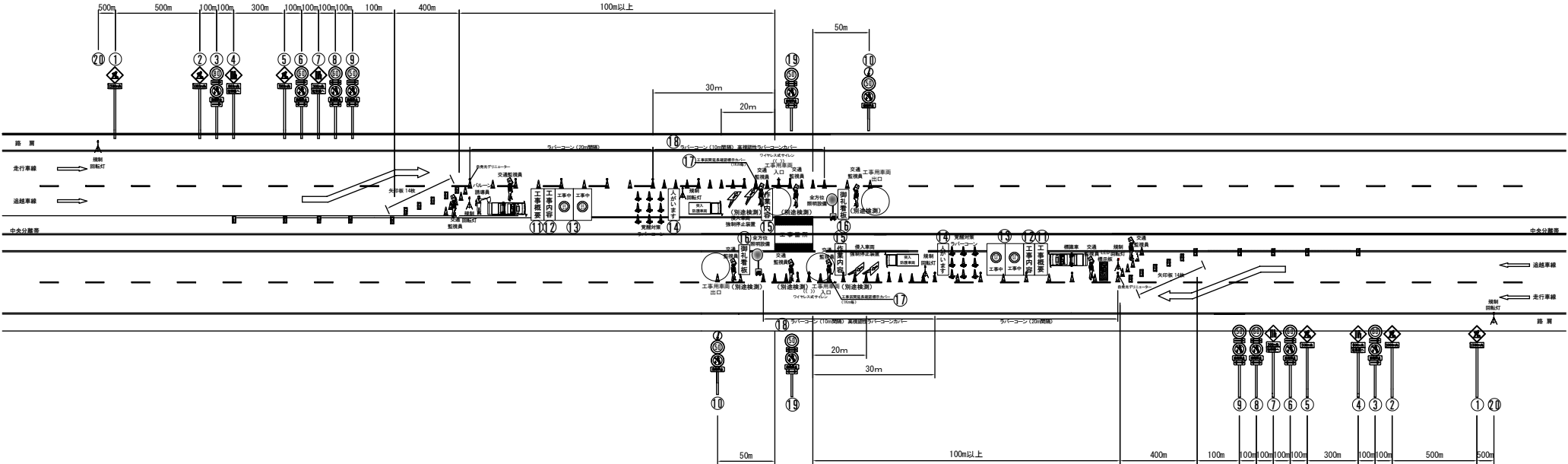
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	10+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
自発光点滅灯	—	図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	10+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基ずつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	18	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号②③手前、テーパー部、工事箇所の手前	3	基	○		
バルーン誘導員	—	テーパー部	1	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	1	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間10m、20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエータ	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	2	台	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所	—	1	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	1	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標示	ラバーコーンカバー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100×H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑱ラバーコーンを10m隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	車線規制(昼夜間連続・走行)	(福島県)	
縮尺	—	図面番号	007 / 014
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

中央分離帯規制(昼夜間連続)(福島県)



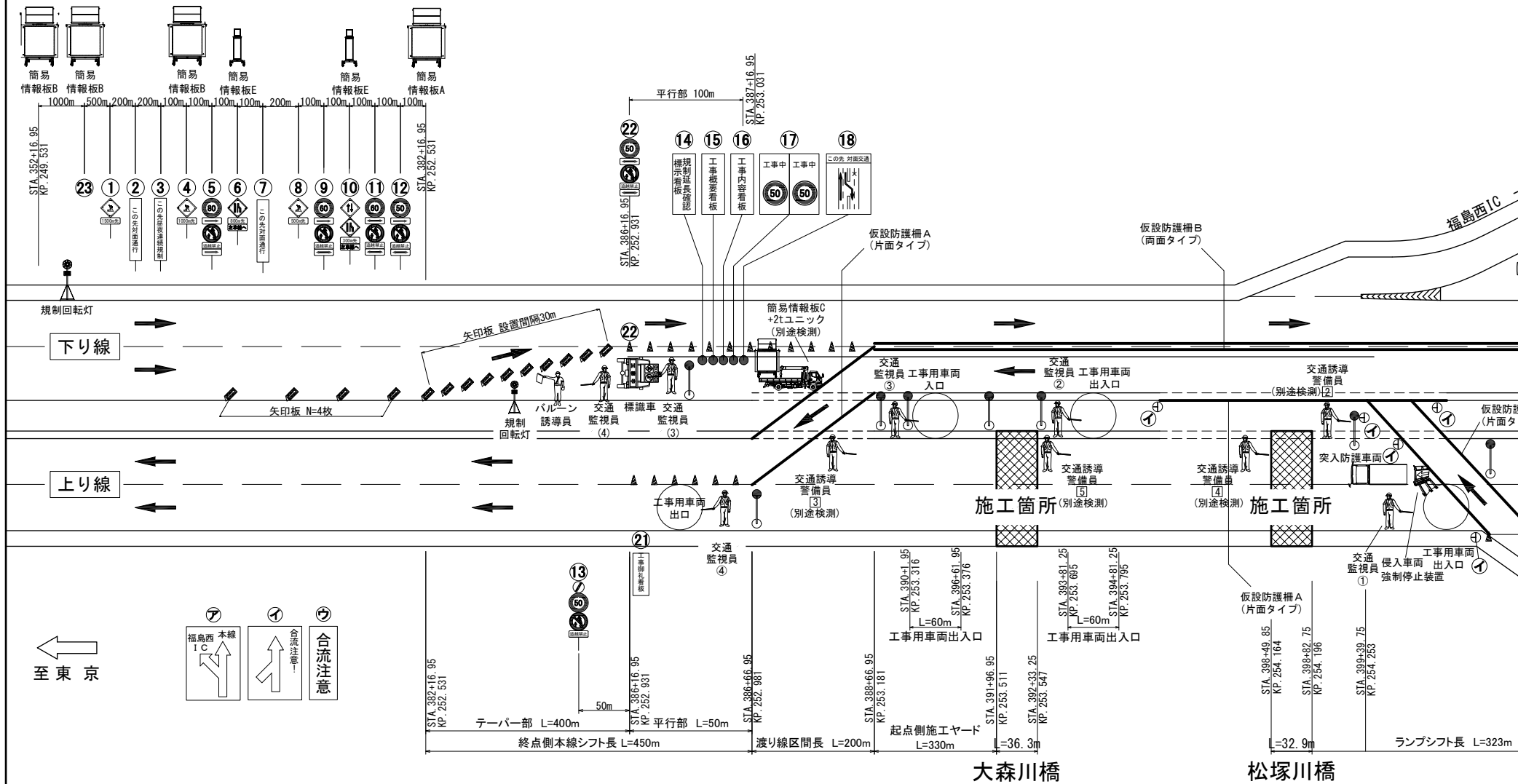
規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分		備考
					受注者	発注者	
規制標識	高輝度反射	図中番号①～⑩、⑬	20+N※	本	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
自発光点滅灯		図中番号①～⑩、⑬の規制標識頭部に設置	20+N※	個	○		※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号④⑤⑦⑨	36	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	図中番号⑭手前、テーパー部、工事箇所の手前	6	基	○		
バールン誘導員	—	テーパー部	2	基		○	
標識車	2t車	規制起点部	2	台		○	
ラバーコーン	—	規制区間10m、20m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリュエータ	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○		センターライン際にて施工する区間は20m間隔にて設置
工事概要看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑪	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑫	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑬	4	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバーコーン	—	工事箇所の手前	18	本	○		
「人がいます」看板	W1100×H1400 高輝度反射	図中番号⑭	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護車両	現場乗入車両4t車程度を配置	工事箇所の手前	2	台	○		
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	4	台	○		
作業内容説明看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	—	工事箇所	2	台	○		
規制作業協力御礼看板	W550×H1400 高輝度反射	図中番号⑯	2	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事区間延長確認標識	ラバーコーンカバー等	図中番号⑰規制終了箇所までの延長1km毎に表示	必要数	枚	○		
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100×H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	必要数	枚	○		飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○		
高視認性ラバーコーンカバー	—	図中番号⑱ラバーコーンを10m隔にて設置する範囲	必要数	枚	○		

※休工時の交通監視員(別検検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床放取替工事	
関道の種類	中央分離帯規制(昼夜間連続) (福島県)
縮尺	— 図面番号 008/014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
(大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)

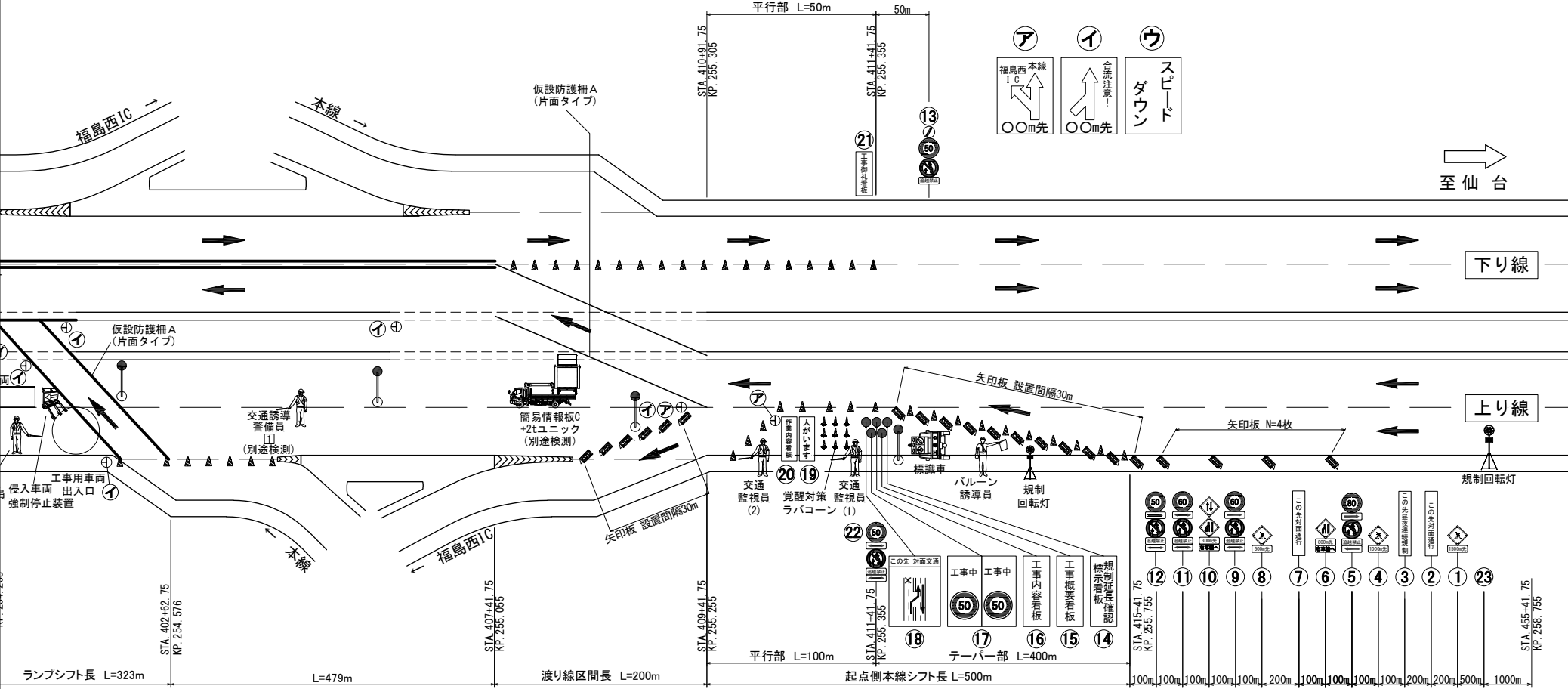


	(1)～(4)	①～④
交通監視員	規制工に含む	別途検測

※休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面通行規制(昼夜間連続)(その1) (大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)
縮尺	- 図面番号 009/014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)



規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分	受注者発注者	備考
規制標識	高輝度反射	國中番号①～⑬、⑯	28+N※	本	○	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
自発光点滅灯	—	國中番号①～⑬、⑯の標識頭部に設置	28+N※	個	○	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、國中番号⑥⑧⑩⑫	36+N※	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
回転灯(三脚付)	—	國中番号②手前、テーパー部	4	基	○	○	
バルーン誘導員	—	テーパー部	2	基	○	○	
標識車	2t車	規制起点部	2	台	○	○	
ラバークン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○	○	センターラインにて施工する区間は10m間隔にて設置
自発光デリニエーター	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○	○	センターラインにて施工する区間は20m間隔にて設置
規制延長確認表示板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑭	2	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑮	2	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑯	2	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑰	4	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
この先対面通行	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑱	2	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
覚醒対策ラバークン	—	工事箇所の手前	1	本	○	○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	國中番号⑲	1	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
突入車防護看板	現場突入車両4車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○	○	
進入車両強制停止装置	—	工事箇所の手前	1	台	○	○	
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号⑳	1	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所	—	2	台	○	○	
規制作業協力御礼看板	W550 × H1400 高輝度反射	國中番号㉑	2	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置(分流部を含む場合)	4	枚	○	○	飛散対策としてウエイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○	○	

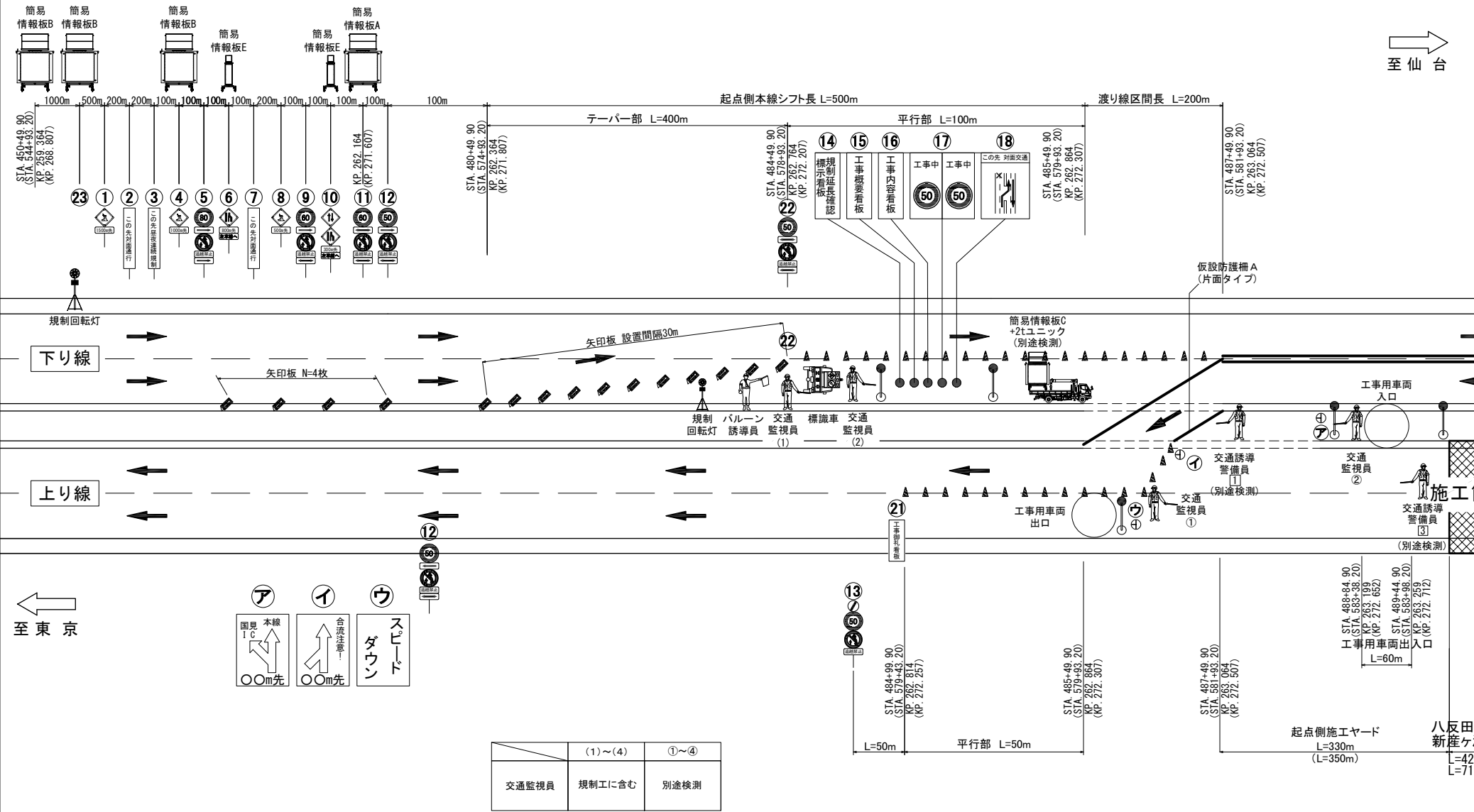
安全対策工凡例

図柄	種別
	簡易情報板A: 監視カメラ・渋滞監視センサー付き
	簡易情報板B: 渋滞監視センサー付き
	簡易情報板C: 対面通行規制内
	簡易情報板E: (渋滞発生時、ファスナー合流を案内) ※ テーパー部・起点部の約300・800m手前に設置



東北自動車道
新産ヶ沢橋床版取替工事
対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(大森川橋・松塚川橋 上り線床版取替 本体工施工時)
図面番号 010/014
設計会社名
施工会社名
事務所名 東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)

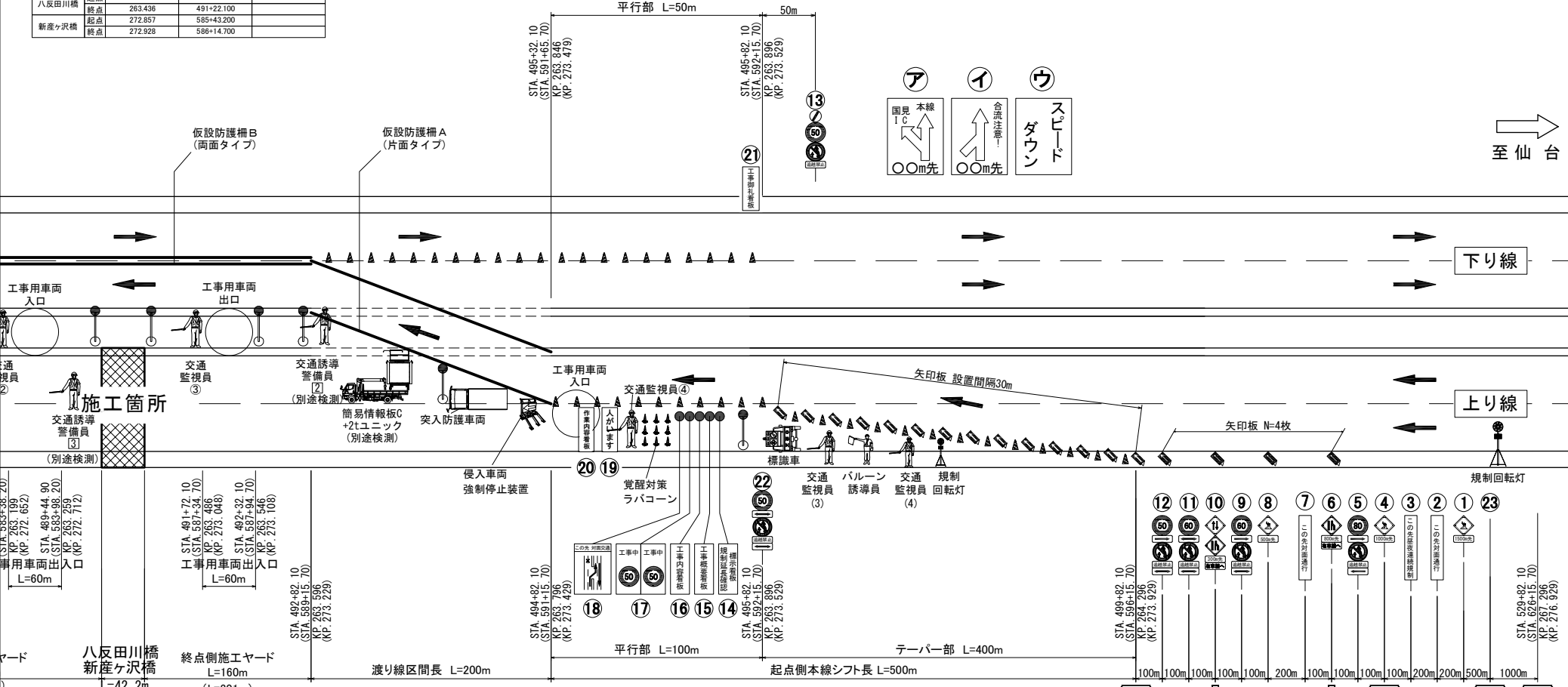


※1 休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。
※2 ()内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
対面通行規制(昼夜間連続)(その1)	
(八反田川橋・新産ヶ沢橋)	
上り線床版取替 本体工施工時	
図面の種類	-
縮尺	図面番号 011/014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)

橋梁	測点	KP.	STA.	備考
八反田川橋	起点	263.394	490+79.900	
	終点	263.436	491+22.100	
新産ヶ沢橋	起点	272.857	585+43.200	
	終点	272.928	586+14.700	



規制機材等区分表

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	区分	発注者	発注者	備考
規制機材	高輝度反射	図中番号①～⑬、②	26+N※	本	○	○	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
自発光点滅灯	高輝度反射	図中番号①～⑬、②の標識頭部に設置	26+N※	個	○	○	○	※規制延長が1kmを超える場合は1kmに1基づつ追加
矢印板	高輝度反射	テーパー部、図中番号⑥/⑧/⑩/⑫	36+N※	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
回転灯 (三脚付)	—	図中番号⑭手前、テーパー部	4	基	○	○	○	
パルーン誘導員	—	図中番号⑭手前	2	基	○	○	○	
標識車	2t車	規制区間20m間隔	必要数	台	○	○	○	
ラコーン	—	規制区間40m間隔	必要数	本	○	○	○	
自発光デコーン	—	規制区間20m間隔	必要数	本	○	○	○	
規制延長確認標識看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑭	2	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事概要看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑮	2	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
工事内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑯	2	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
速度抑制看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑰	4	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
この先対面通行	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑱	2	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
覚醒対策ラコーン	—	工事箇所の手前	9	本	○	○	○	
「人がいます」看板	W1100 × H1400 高輝度反射	図中番号⑲	1	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
突入車防護柵	現場乗入車両4車程度を配置	工事箇所の手前	1	台	○	○	○	
進入車強制停止装置	—	工事箇所の手前	1	台	○	○	○	
作業内容説明看板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号⑳	1	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
ワイヤレス式サイレン	工事箇所	—	2	台	○	○	○	
規制作業協力脚着板	W550 × H1400 高輝度反射	図中番号㉑	2	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
本線・ランプ分流部の分岐案内標識	W1100 × H1400 高輝度反射	分流部に設置 (分流部を含む場合)	4	枚	○	○	○	飛散対策としてウェイト及びロープにより固定
全方位照明設備	0.4KW以上	規制区間300m毎	必要数	基	○	○	○	

安全対策工凡例

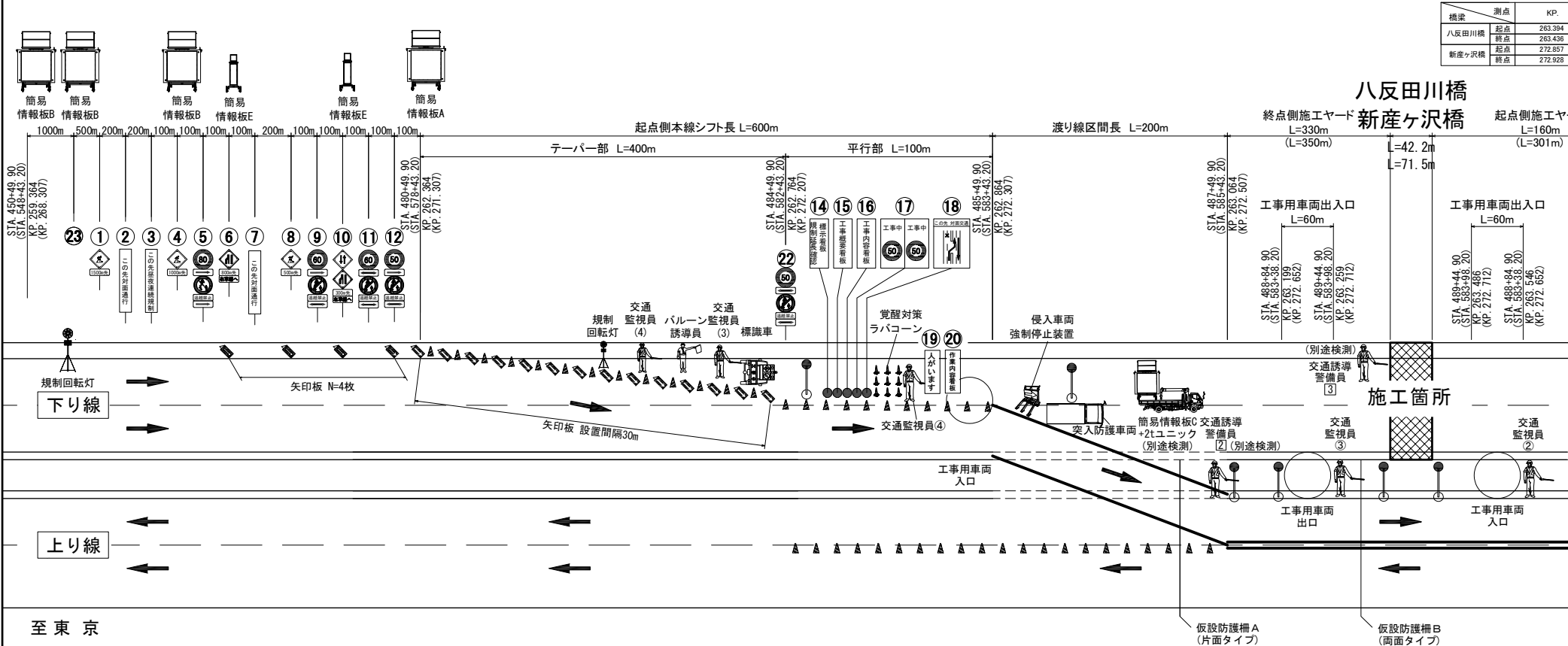
図柄	種別
	簡易情報板A: 監視カメラ・渋滞監視センサー付き
	簡易情報板B: 渋滞監視センサー付き
	簡易情報板C: 対面通行規制内
	簡易情報板E: (渋滞発生時、ファスナー合流を案内) ※ テーパー始点の約300・800m手前に設置

※ () 内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

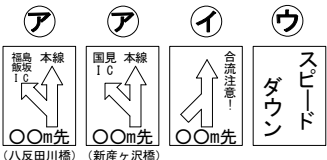
東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
対面通行規制(昼夜間連続)(その2)	
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 上り線床版取替 本体工施工時)	
図面の種類	図面番号 012/014
縮尺	—
設計会社名	—
施工会社名	—
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 下り線床版取替 本体工施工時)

013/014



至 東 京



	(1)~(4)	①~④
交通監視員	規制工に含む	別途検測

※1.休工時の交通監視員(別途検測)および交通誘導警備員の配置は不要とする。
※2.()内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

項目	細目・仕様等	設置箇所	数量	単位	備 考
規制標識	直線直交点	途中車線1~3、4、5	28	枚	○
簡易情報板A	直線直交点	途中車線1~3、4、5の横断線後(設置)	28	枚	○
矢印板	直線直交点	ターバー部、途中車線等全箇所	28	枚	○
矢印板(右折用)	—	ターバー部、途中車線等全箇所	4	枚	○
バレーン設置板	—	ターバー部	2	枚	○
標識車	2台	規制区間の中心	2	台	○
サイレン	—	規制区間の中心	2	台	○
緊急発光リモコン	—	規制区間の中心	2	台	○
簡易情報板B	直線直交点	途中車線	2	枚	○
工事開始警報	W1100 x H1400 直線直交点	途中車線	2	枚	○
工事内警報	W1100 x H1400 直線直交点	途中車線	2	枚	○
工事完了警報	W1100 x H1400 直線直交点	途中車線	2	枚	○
この先分岐	W1100 x H1400 直線直交点	途中車線	2	枚	○
規制対策ラバコーン	—	工事開始の直前	2	枚	○
バレーン設置	W1100 x H1400 直線直交点	途中車線	2	枚	○
侵入車検知装置	—	工事開始の直前	1	台	○
侵入車検知装置	—	工事開始の直前	1	台	○
簡易情報板C	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板D	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板E	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板F	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板G	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板H	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板I	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板J	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板K	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板L	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板M	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板N	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板O	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板P	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板Q	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板R	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板S	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板T	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板U	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板V	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板W	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板X	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板Y	直線直交点	途中車線	2	枚	○
簡易情報板Z	直線直交点	途中車線	2	枚	○

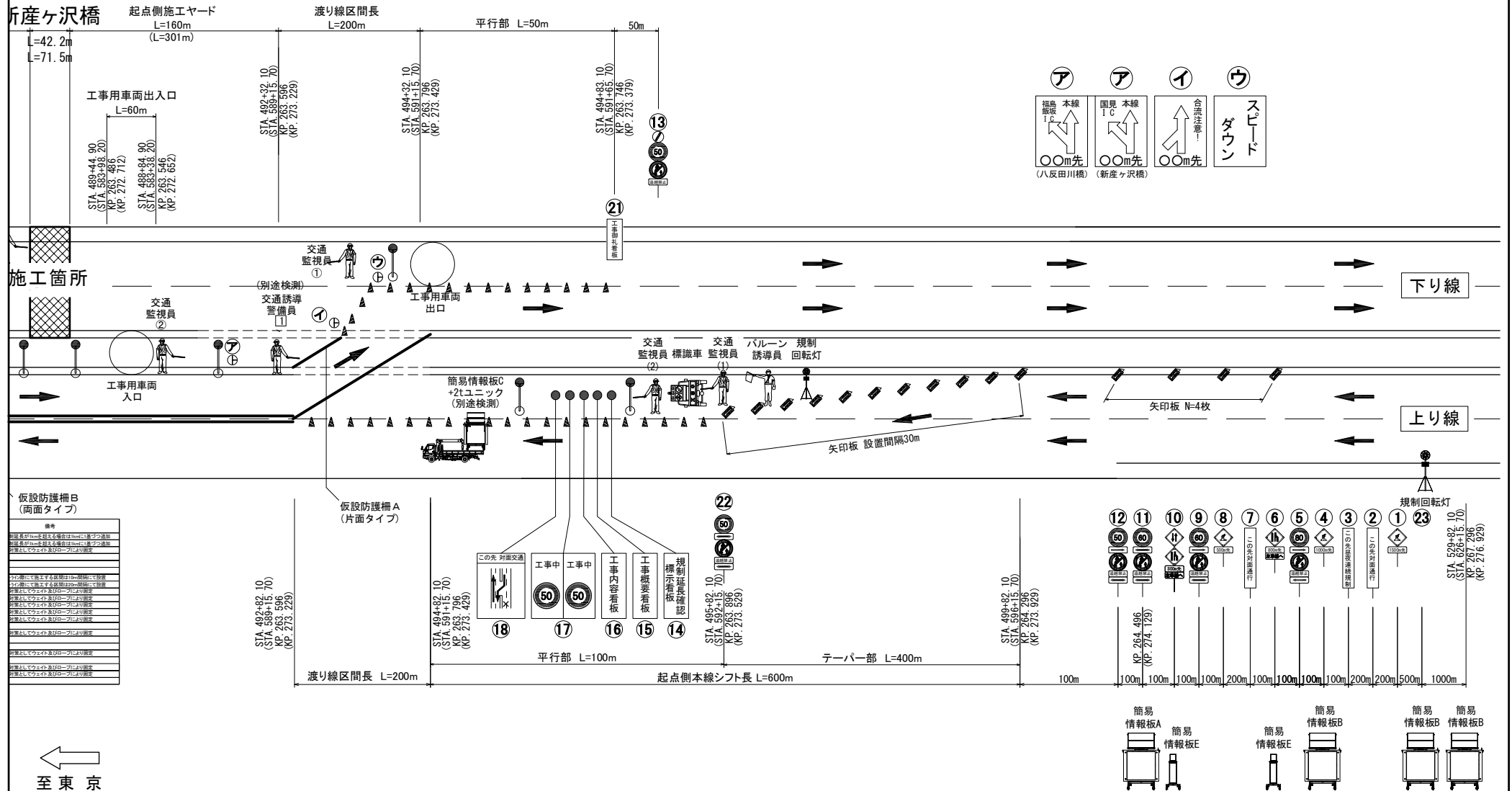
項目	簡 易	別
簡易情報板A: 監視カメラ、流濁監視	センター付き	
簡易情報板B: 流濁監視	センター付き	
簡易情報板C: 対面通行規制内	センター付き	
簡易情報板E: (流濁発生時、ファスナー合流を案内)		
※ターバー・給点の約300~800m手前		
に設置		

東北自動車道	新産ヶ沢橋床版取替工事
開通の種別	対面通行規制(昼夜間連続)(その1)
開通の種別	(八反田川橋・新産ヶ沢橋)
開通の種別	下り線床版取替 本体工施工時
開通の種別	図面番号 013/014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社
	福島管理事務所

対面通行規制(昼夜間連続)(その2)
(八反田川橋・新産ヶ沢橋 下り線床版取替 本体工施工時)

測点		KP.	STA.	備考
八反田川橋	起点	263.394	490+79.900	
	終点	263.436	491+22.100	
新産ヶ沢橋	起点	272.857	585+43.200	
	終点	272.928	586+14.700	

橋川田反人
橋沢ヶ産所



←
至東京

※ () 内の数値、測点は新産ヶ沢橋を示す。

東北自動車道 新産々沢橋床版取替工事	
図面の種類	対面進行規制(昼夜間連続)(その2) (八反田川橋・新産々沢橋 下り線床版取替 本体施工時)
縮 尺	— 図面番号 014/014
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

ステップ図

圖 面 目 次

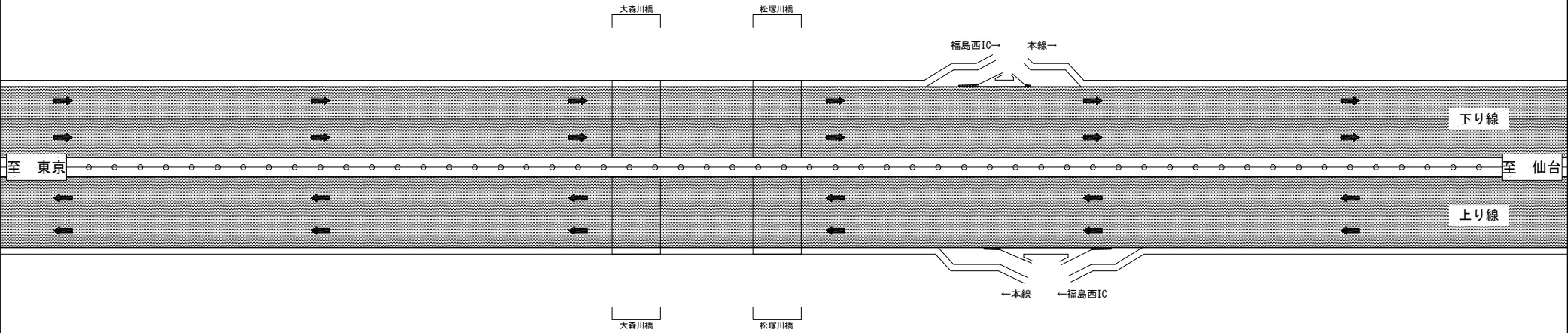
[illegible]

大森川橋・松塚川橋（上り線） 施エステップ図（１）

001／012

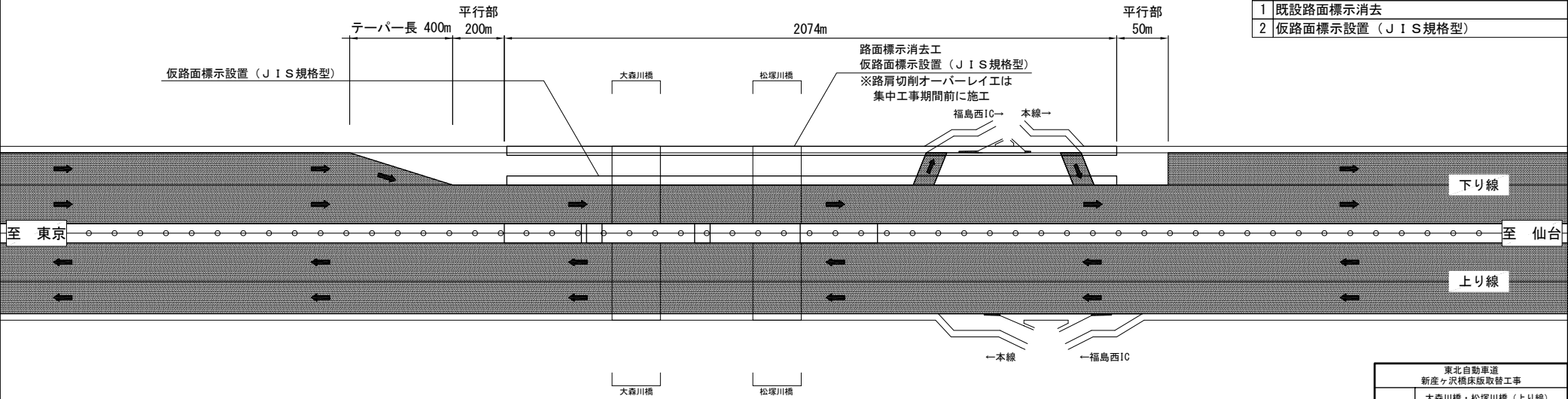
現 況 図

工事内容(参考)	
1	調査工
2	吊り足場設置



施エステップ①

工事内容(参考)	
1	既設路面標示消去
2	仮路面標示設置（J I S規格型）



施工箇所 ☐

通行帯 ☒

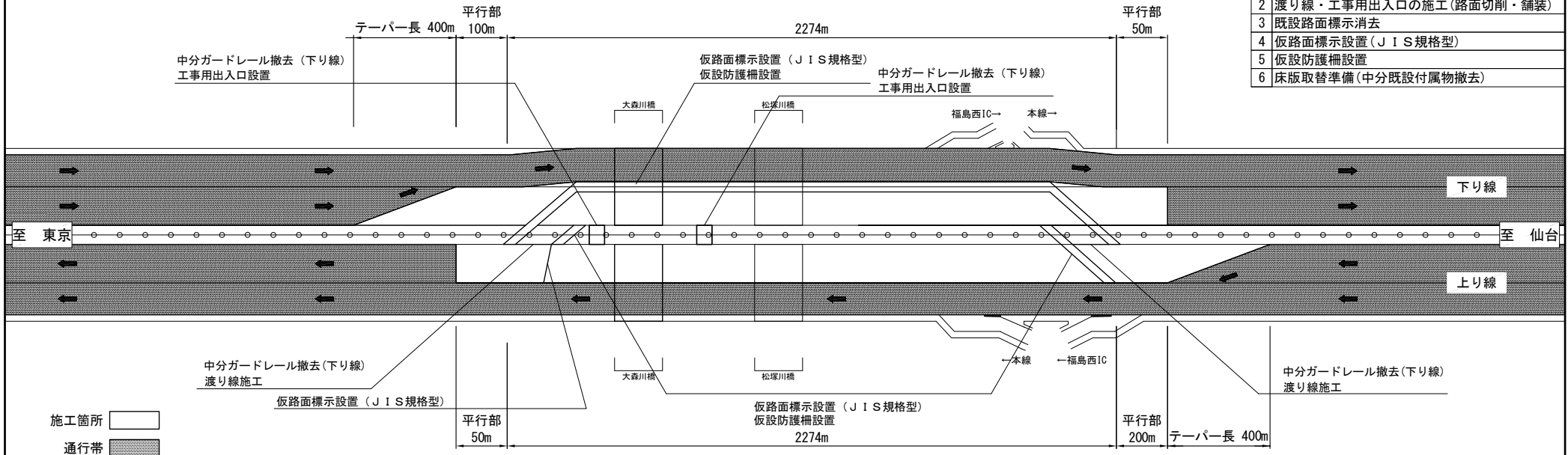
東北自動車道 新産ヶ沢橋床取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図(1)
縮 尺	— 図面番号 001 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

大森川橋・松塚川橋（上り線） 施工程序図（2）

002/012

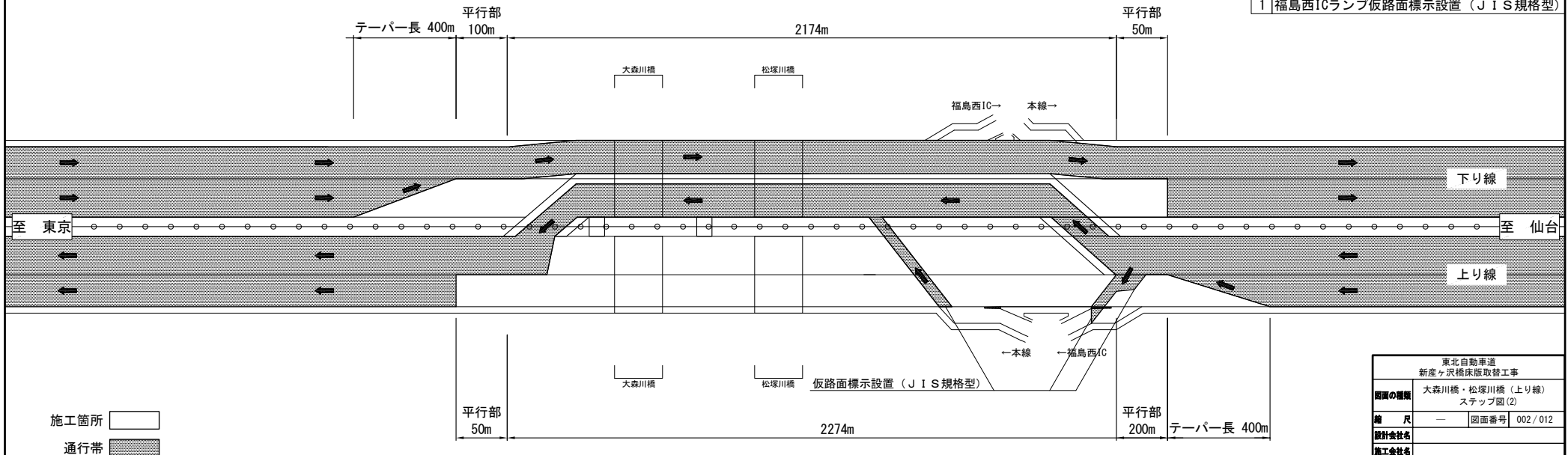
施工程序②

工事内容(参考)	
1	中分ガードレール撤去
2	渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
3	既設路面標示消去
4	仮路面標示設置(JIS規格型)
5	仮設防護柵設置
6	床版取替準備(中分既設付属物撤去)



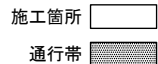
施工程序③

工事内容(参考)	
1	福島西ICランプ仮路面標示設置(JIS規格型)

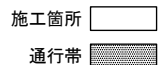


東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋(上り線) ステップ図(2)
縮尺	— 図面番号 002/012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

1	上り線床版取替
---	---------



1	仮設防護柵撤去
2	構造物取壊し
3	渡り線・工事用出入口の撤去 (舗装撤去・切削オーバーレイ)
4	中分防護柵復旧
5	仮路面標示消去
6	路面標示設置(標準型)



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図（3）
縮 尺	— 図面番号 003 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

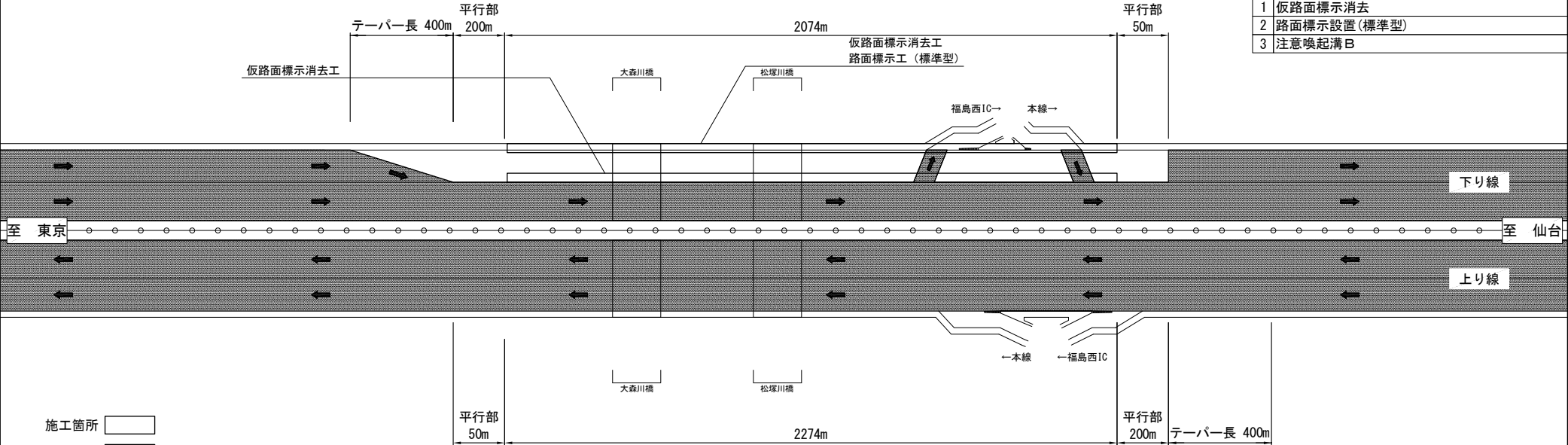
大森川橋・松塚川橋（上り線） 施工程序図（４）

004/012

通行帯

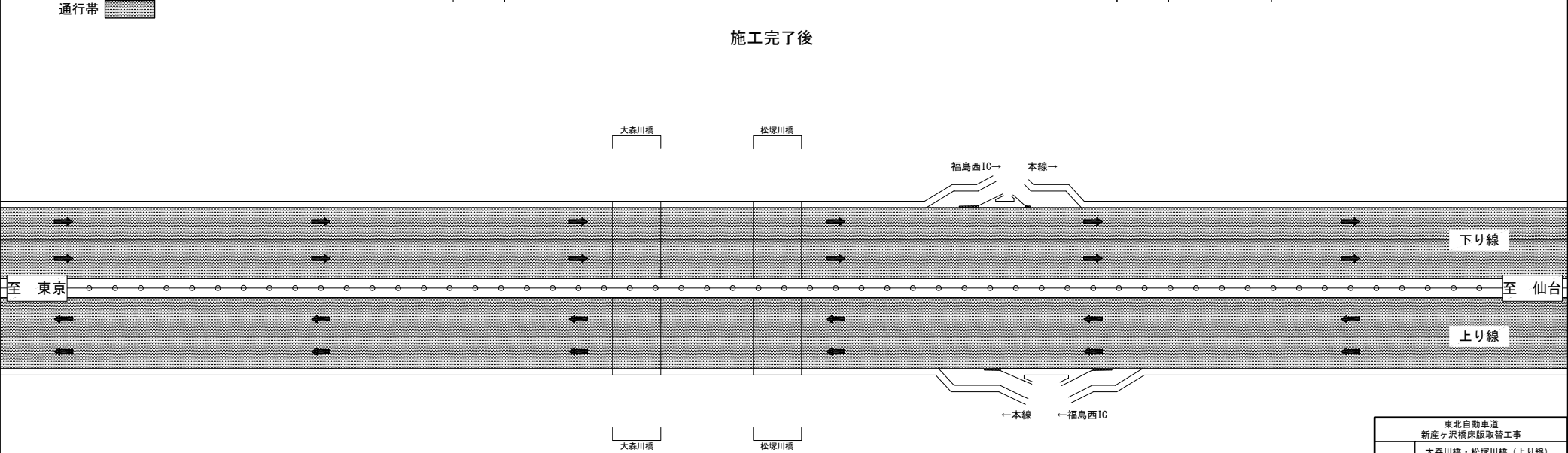
施工程序⑥

工事内容(参考)	
1	仮路面標示消去
2	路面標示設置(標準型)
3	注意喚起溝B



施工箇所
通行帯

施工完了後



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	大森川橋・松塚川橋（上り線） ステップ図(4)
縮尺	— 図面番号 004 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

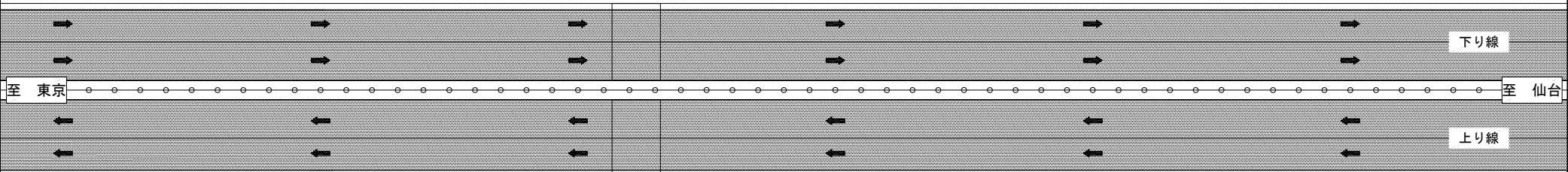
八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） 施エステップ図（1）

005/012

現 況 図

工事内容(参考)	
1	調査工
2	吊り足場設置

八反田川橋
新産ヶ沢橋

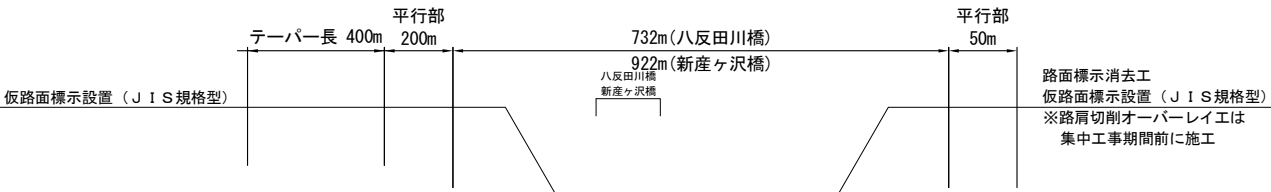


八反田川橋
新産ヶ沢橋

通行帯

施エステップ①

工事内容(参考)	
1	既設路面標示消去
2	仮路面標示設置（J I S規格型）



八反田川橋
新産ヶ沢橋

施工箇所
通行帯

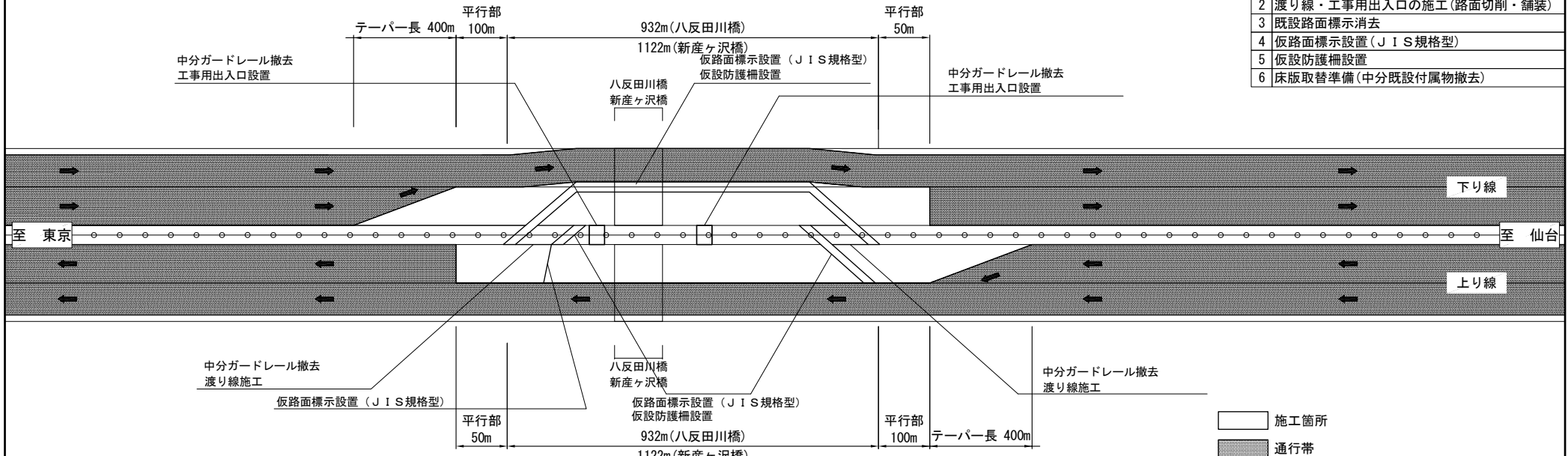
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(1)
縮 尺	— 図面番号 005/012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） 施工程序図（2）

006/012

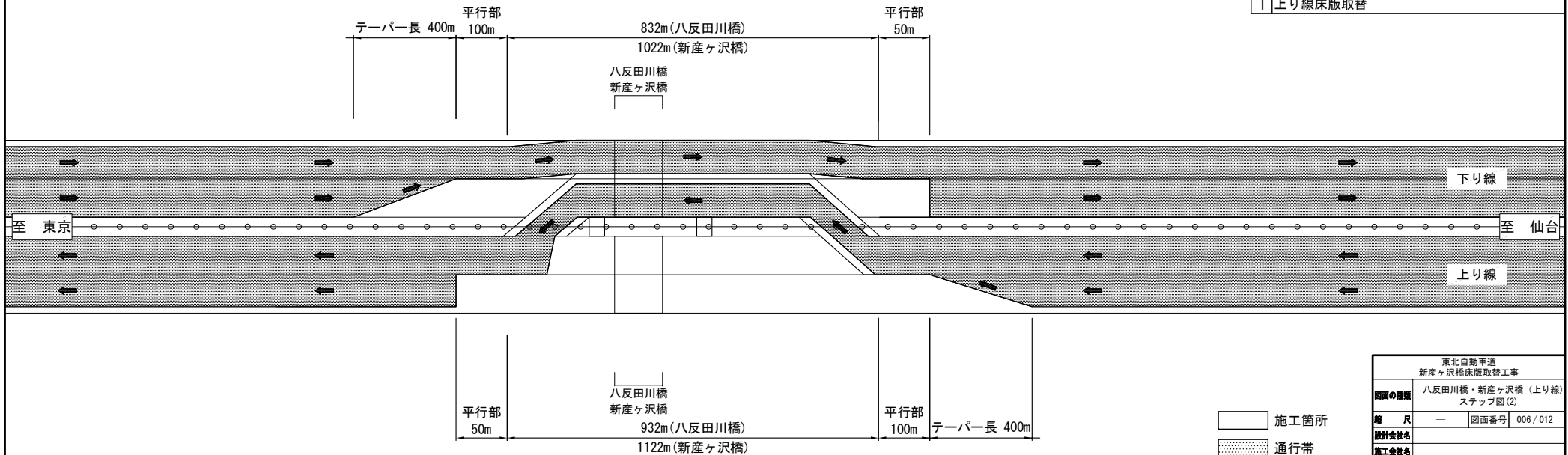
施工程序②

工事内容(参考)	
1	中分ガードレール撤去
2	渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
3	既設路面標示消去
4	仮路面標示設置(JIS規格型)
5	仮設防護柵設置
6	床版取替準備(中分既設付属物撤去)



施工程序③

工事内容(参考)	
1	上り線床版取替



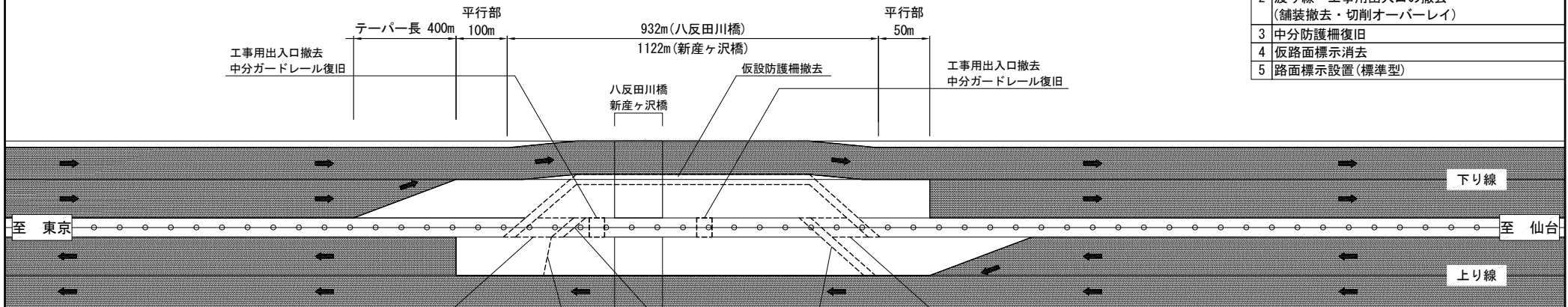
東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(2)
縮尺	— 図面番号 006/012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） 施工ステップ図（3）

007/012

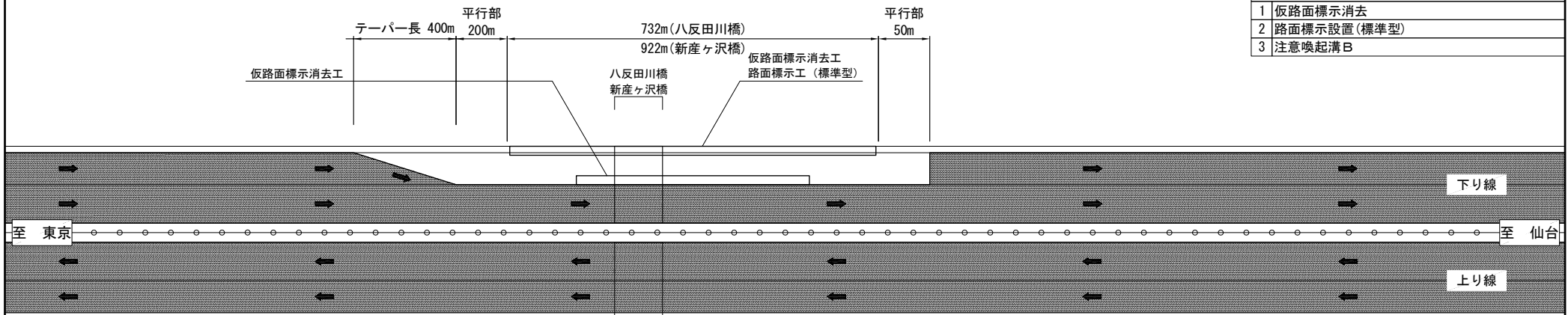
施工ステップ④

工事内容(参考)	
1	仮設防護柵撤去
2	渡り線・工事用出入口の撤去 (舗装撤去・切削オーバーレイ)
3	中分防護柵復旧
4	仮路面標示消去
5	路面標示設置(標準型)



施工ステップ⑤

工事内容(参考)	
1	仮路面標示消去
2	路面標示設置(標準型)
3	注意喚起溝B



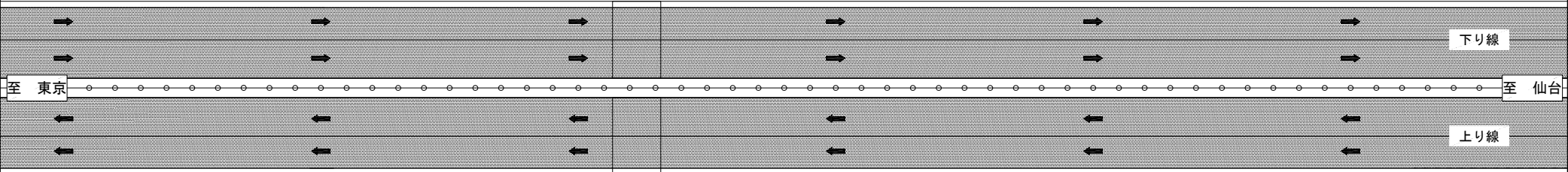
八反田川橋
新産ヶ沢橋

施工箇所
通行帯

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(3)
縮尺	— 図面番号 007/012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

施工完了後

八反田川橋
新産ヶ沢橋



八反田川橋
新産ヶ沢橋

通行帯

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（上り線） ステップ図(4)
縮 尺	— 図面番号 008 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） 施エステップ図（１）

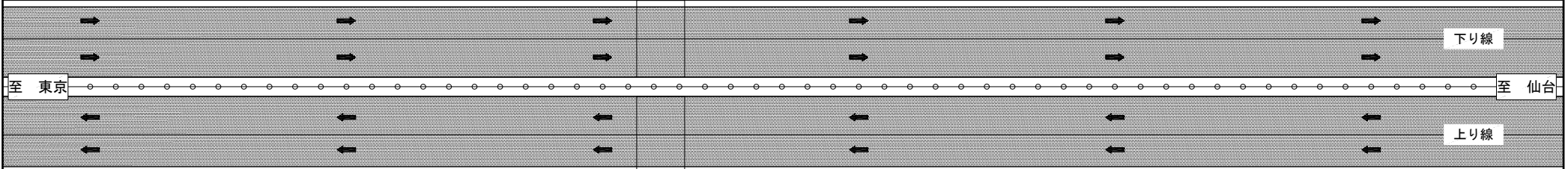
009／012

現 況 図

工事内容(参考)

- 1 調査工
- 2 吊り足場設置

八反田川橋
新産ヶ沢橋



八反田川橋
新産ヶ沢橋

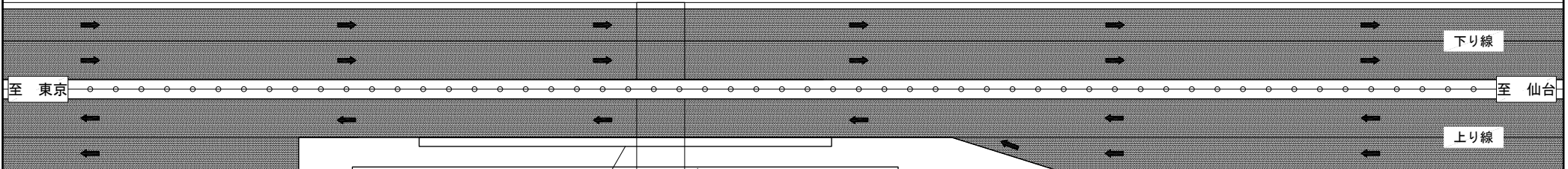
施エステップ①

通行帯

工事内容(参考)

- 1 既設路面標示消去
- 2 仮路面標示設置（ＪＩＳ規格型）

八反田川橋
新産ヶ沢橋



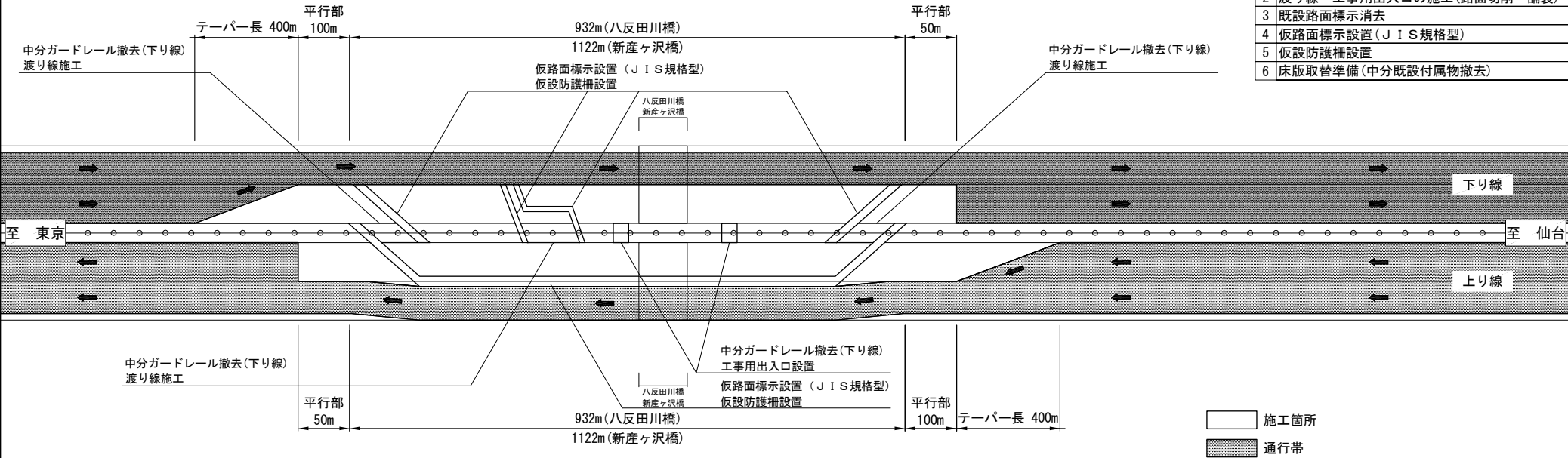
施工箇所
通行帯

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(1)		
縮 尺	—	図面番号	009 / 012
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） 施工ステップ図（２）

010/012

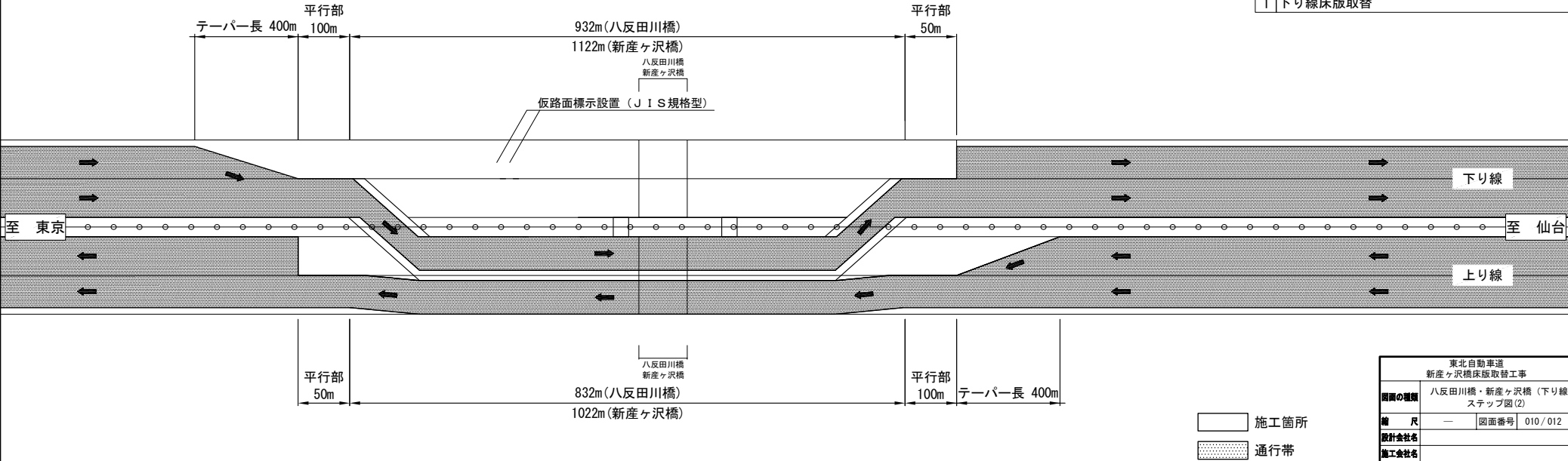
施工ステップ②



工事内容(参考)

- 1 中分ガードレール撤去
- 2 渡り線・工事用出入口の施工(路面切削・舗装)
- 3 既設路面標示消去
- 4 仮路面標示設置(JIS規格型)
- 5 仮設防護柵設置
- 6 床版取替準備(中分既設付属物撤去)

施工ステップ③



工事内容(参考)

- 1 下り線床版取替

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(2)
縮尺	— 図面番号 010/012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

工事内容(参考)

-
- 至 東京
- 至 仙台
- 下り線
- 上り線
- 932m (八反田川橋)
- 1122m (新産ヶ沢橋)
- 仮設防護柵撤去
仮路面標示消去工
路面標示工 (標準型)
- 八反田川橋
新産ヶ沢橋
- テーパー長 400m
- 平行部 100m
- 平行部 50m
- 渡り線撤去
(舗装撤去・切削オーバーレイ)
中分ガードレール復旧
- 渡り線撤去
(舗装撤去・切削オーバーレイ)
中分ガードレール復旧
- | | |
|---|----------------------------------|
| 2 | 渡り線・工事用出入口の撤去
(舗装撤去・切削オーバーレイ) |
| 3 | 中分防護柵復旧 |
| 4 | 仮路面標示消去 |
| 5 | 路面標示設置 (標準型) |

工事内容(参考)

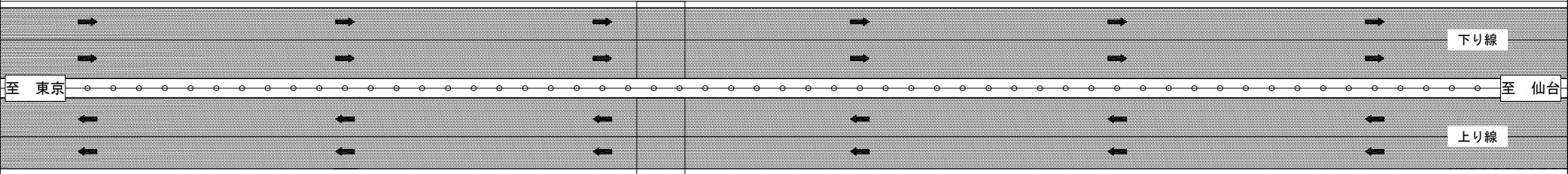
-
- 渡り線撤去
(舗装撤去・切削オーバーレイ)
中分ガードレール復旧
- 仮設防護柵撤去
仮路面標示消去工
路面標示工 (標準型)
- 工事用出入口撤去
中分ガードレール復旧
- 八反田川橋
新産ヶ沢橋
- 932m (八反田川橋)
1122m (新産ヶ沢橋)
- 平行部
50m
- 平行部
100m
- テーパー長 400m
- 施工箇所
- 通行帯
- 工事内容 (参考)
- | | |
|---|--------------|
| 1 | 仮路面標示消去 |
| 2 | 路面標示設置 (標準型) |
| 3 | 注意喚起溝 B |
- 施工ステップ⑤
- 八反田川橋
新産ヶ沢橋
- 下り線
- 上り線
- 至 東京
- 至 仙台
- 仮路面標示消去工
仮路面標示消去工
路面標示工 (標準型)
- 八反田川橋
新産ヶ沢橋
- 732m (八反田川橋)
922m (新産ヶ沢橋)
- 平行部
50m
- 平行部
200m
- テーパー長 400m
- 施工箇所
- 東北自動車道
新産ヶ沢橋床版取替工事
- 図面の種類
八反田川橋・新産ヶ沢橋 (下り線)
ステップ図 (3)
- 縮尺
—
- 図面番号
011 / 012

 通行帶

東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(3)
縮 尺	— 図面番号 011 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

施工完了後

八反田川橋
新産ヶ沢橋



八反田川橋
新産ヶ沢橋

 通行帯

東北自動車道	
新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	八反田川橋・新産ヶ沢橋（下り線） ステップ図(4)
縮 尺	— 図面番号 012 / 012
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

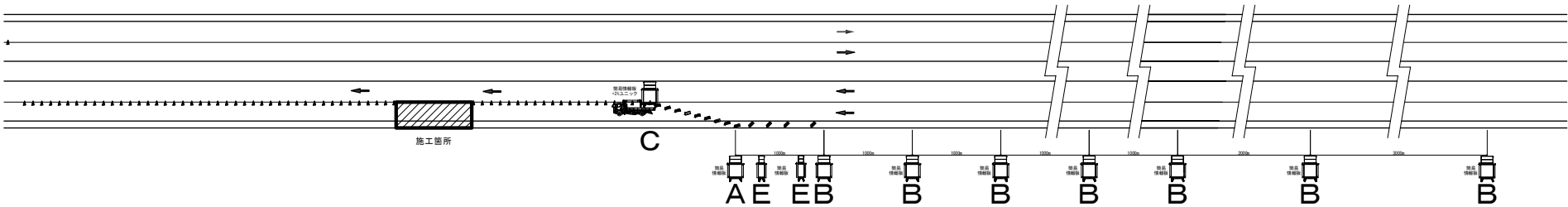
その他

目 次

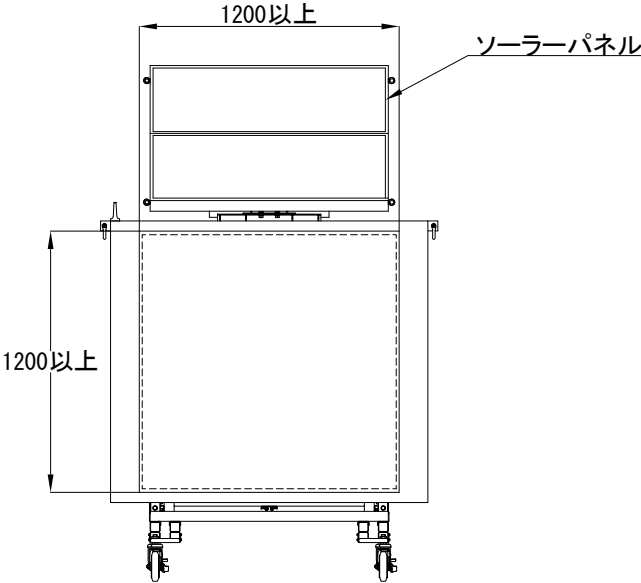
[illegible]

安全対策工(1)

簡易情報板配置図



簡易情報板詳細図



凡例

- A : 簡易情報板 A (監視カメラ・渋滞監視センサー付)
- B : 簡易情報板 B (渋滞監視センサー付)
- C : 簡易情報板 C (車線規制内)
- D : 簡易情報板 D (広域配置)
- E : 簡易情報板 E (車線規制手前)

大森川橋・松塚川橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 67 日	基・日	134
B	14 基	上り線: 67 日	基・日	938
C	2 基	上り線: 67 日	基・日	134
D	14 基	上り線: 67 日	基・日	938
E	4 基	上り線: 67 日	基・日	268

八反田川橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 86 日 下り線: 86 日	基・日	344
B	10 基	上り線: 86 日 下り線: 86 日	基・日	1720
C	2 基	上り線: 86 日 下り線: 86 日	基・日	344
D	12 基	上り線: 86 日 下り線: 86 日	基・日	2064
E	4 基	上り線: 86 日 下り線: 86 日	基・日	688

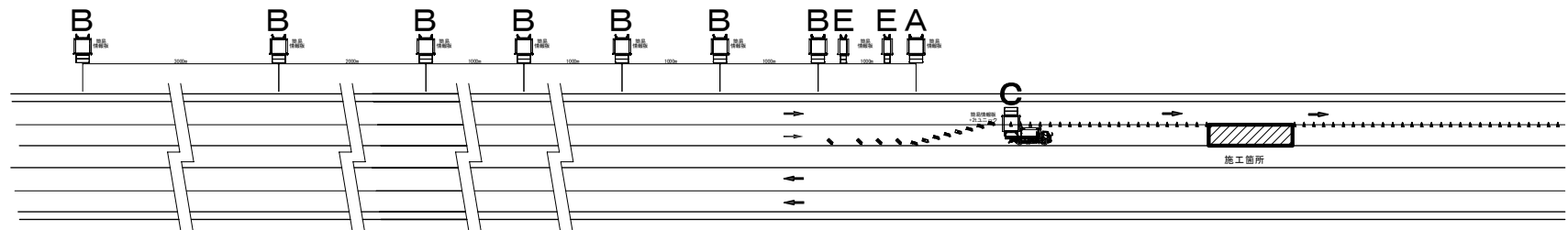
新産ヶ沢橋施工時

	設置台数	設置期間	単位	数量
A	2 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	352
B	10 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	1760
C	2 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	352
D	14 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	2464
E	4 基	上り線: 88 日 下り線: 88 日	基・日	704

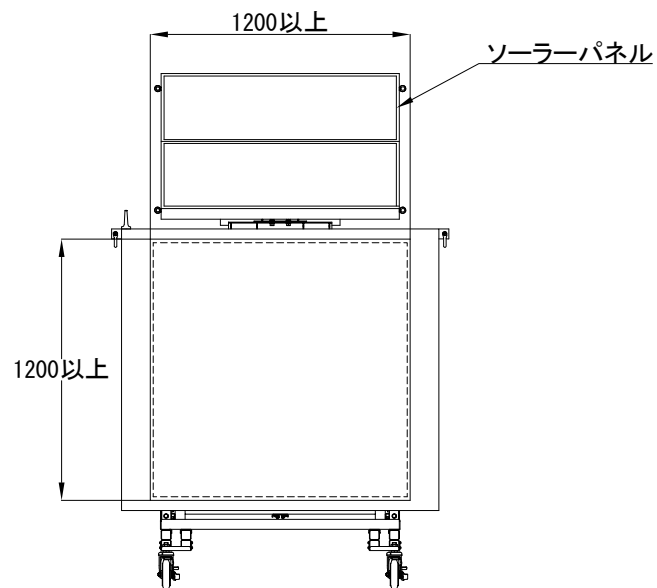
東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事			
図面の種類	安全対策工(1)		
縮尺	—	図面番号	001/003
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所		

安全対策工(2)

簡易情報板配置図



簡易情報板詳細図



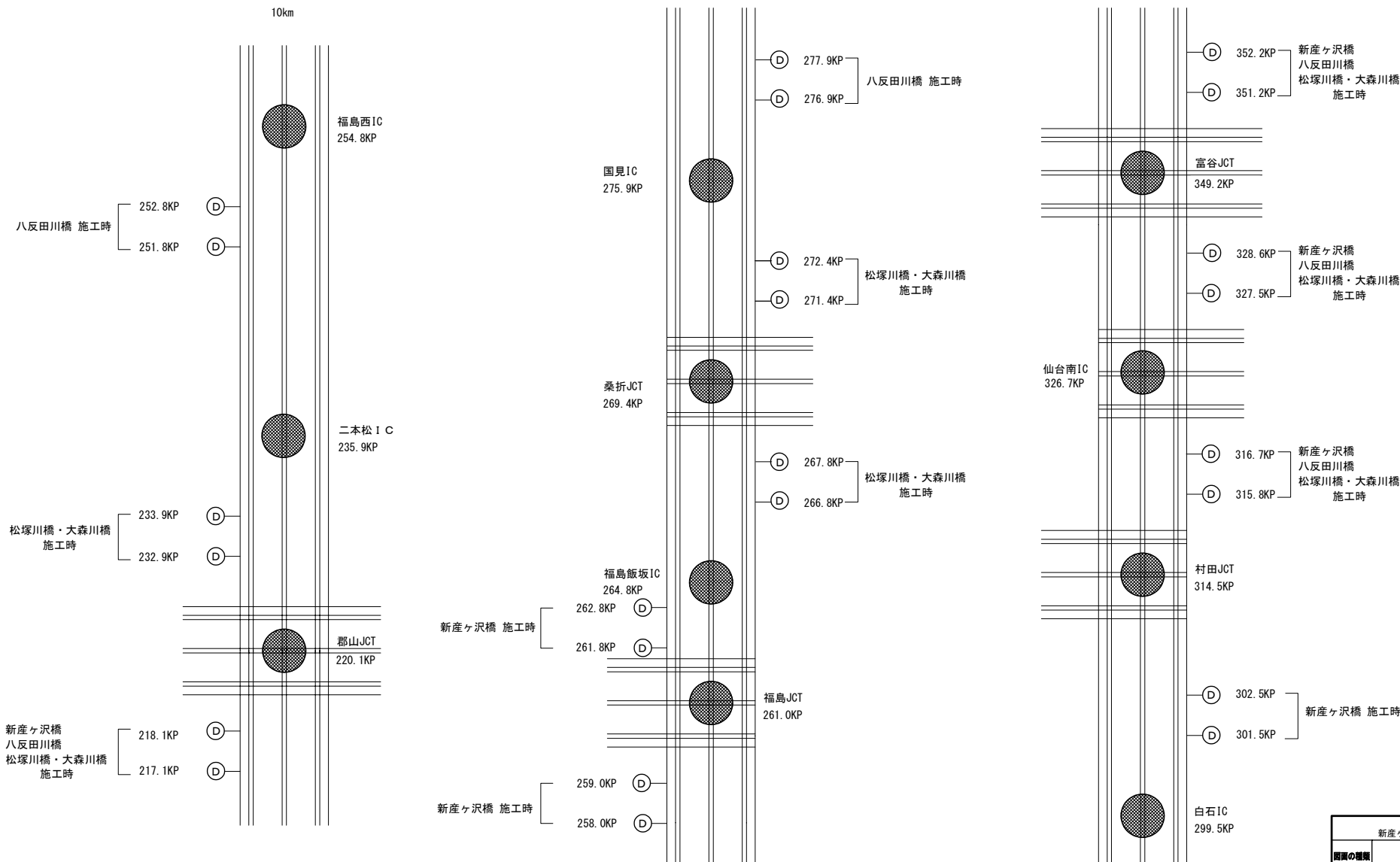
凡例

- A : 簡易情報板 A (監視カメラ・渋滞監視センサー付)
- B : 簡易情報板 B (渋滞監視センサー付)
- C : 簡易情報板 C (車線規制内)
- D : 簡易情報板 D (広域配置)
- E : 簡易情報板 E (車線規制手前)

東北自動車道 新産ヶ沢橋床取替工事	
図面の種類	安全対策工(2)
縮尺	— 図面番号 002/003
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所

安全対策工(3)

東北道(広域)配置箇所



東北自動車道 新産ヶ沢橋床版取替工事	
図面の種類	安全対策工(3)
縮尺	— 図面番号 003 / 003
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 福島管理事務所